

事業報告

平成 8 年度

長崎県工業技術センター

目 次

I. 工業技術センター概要

1. 沿革	1
2. 施設概要	1
3. 業務内容	1
4. 組織	2
5. 職員の配置	2
6. 職員一覧	3
7. 平成8年度に導入された主な設備	4
8. 工業所有権	5

II. 事業報告

1. 開発研究	8
(1) 特別研究	8
(2) 経常研究	9
(3) 共同技術開発	11
2. 長崎技術研究会	13
3. 技術指導	
(1) 技術アドバイザー	27
(2) 技術相談	29
4. 依頼試験	30
5. 設備開放	
(1) 設備使用実績	30
(2) 設備使用目的別集計	31
(3) 設備別使用時間	31
6. 各種会議開催	32
7. 外部への研究発表	
(1) 口頭発表	33
(2) 誌上発表	38
8. 人材交流	
(1) 講師依頼派遣	40
(2) 審査委員等派遣	43
(3) 客員研究員及び講師招聘	51
(4) 研修生の受入れ	59
9. 施設見学者	59

I. 工業技術センター概要

1. 沿革

昭和25年4月	佐世保市広田町に長崎県鉱業試験所を開設
37年10月	長崎市文教町に長崎県工業技術センターを開設
40年11月	長崎県鉱業試験所を長崎県工業技術センター県北支所に改組
42年4月	長崎県工業技術センター県北支所を長崎県県北工業技術センターに改称
46年4月	長崎県工業技術センターを長崎県工業試験場に、長崎県県北工業技術センターを長崎県県北工業試験場に改称
平成元年10月	長崎県工業試験場と長崎県県北工業試験場を再編統合し、長崎県工業技術センターを大村市に開設
4年4月	機械金属部に海洋技術科を新設

2. 施設概要

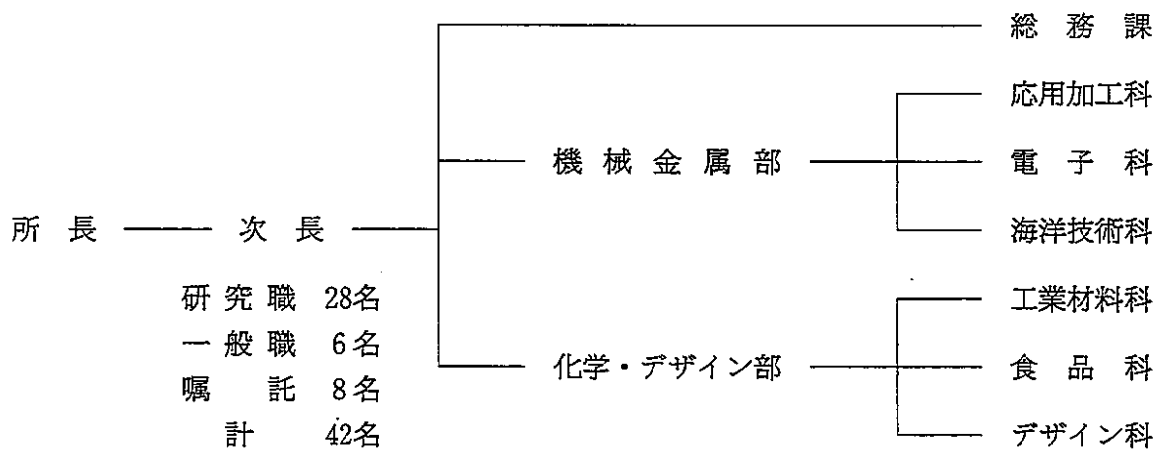
敷地面積	約30,000m ²	
建設面積	長崎県工業技術センター	7,266m ²
	(財)長崎県産業技術振興財団施設	2,194m ²
	合 計	9,460m ²

3. 業務内容

- 長崎技術研究会：研究員の得意技を公表し、この指止まれ方式で集まった企業と一緒に新技術や新商品の開発に取り組んでいる。
- 技術開発研究：中小企業庁や中小企業事業団などの補助事業に参画し、技術開発を進める一方、本県独自の研究開発に取り組んでいる。
- 共同研究：共同開発テーマが生じたとき、企業や大学と共同研究を行っている。
- 共同技術開発：共同研究に比して、研究課題が簡易で、比較的短期間に少ない経費で履行できる研究については、簡単な手続きで企業と共同で研究開発を行っている。
- 技術指導：当センター研究員及び技術アドバイザーにより、訪問技術指導、技術相談等を実施している。
- 依頼試験：化学分析、材料強度試験などの依頼に応じ、県内企業の基礎力向上を支援している。
- 技術セミナー：先端技術の紹介や基盤技術向上のために、研究成果の発表会、実習を伴う研修会や特別講師による講習会を開催している。
- 設備開放：特徴ある情報装置、機器類を一般に有料（実費）で開放している。
- 学協会協力：学協会の事業を県の立場で協力、支援している。

4. 組 織

(平成9年4月1日現在)



5. 職員の配置

(平成9年4月1日現在)

		事務吏員	技術吏員	(研究員)	嘱 託	計
所	長		1	(1)		1
次	長	1				1
総	務 課	4 (兼1)	1		8	13
機 械 金 属 部	部 長		1	(1)		1
	応用加工科		4	(4)		4
	電 子 科		5	(5)		5
	海洋技術科		3	(3)		3
化 学 デ ザ イ ン 部	部 長		(兼1)			
	工業材料科		4	(4)		4
	食 品 科		6	(6)		6
	デザイン科		4	(4)		4
計		5	29	(28)	8	42

* (兼) は外数

(参考)

平成8年5月1日現在	5	30	(29)	8	43
〃 7年4月1日現在	5	29	(28)	7	41
〃 6年4月1日現在	5	29	(28)	8	42
〃 5年4月1日現在	4	30	(29)	8	42

6. 職員一覧

(平成9年4月1日現在)

部 門		職 名	氏 名	着 任 年 月 日
総 務 課		所 長	長 田 純 夫	平成1. 10. 1
		次 長	加 藤 幸 則	9. 4. 1
		総務課長(兼)	加 藤 幸 則	9. 4. 1
		専門幹	土 谷 敏 夫	6. 4. 1
		係 長	酒 井 健 吉	7. 4. 1
		主 査	濱 松 早 苗	8. 4. 1
		主 事(庁務)	久 保 三 千 代	2. 4. 1
		技 師(運転)	河 野 武 義	1. 10. 1
		嘱 託	西 田 邦 博	6. 4. 1
		嘱 託	佐々木 正 夫	7. 8. 1
		嘱 託	畑 田 留 理 子	5. 9. 1
		嘱 託	加 藤 陽 子	5. 4. 1
		嘱 託	富 永 直 美	1. 10. 1
		嘱 託	本 浦 栄 子	8. 4. 1
		嘱 託	菊 池 徹	9. 4. 1
		嘱託(発明協会)	加 藤 政 継	8. 4. 1
機 械 金 属 部	応用加工科	部 長	森 田 英 毅	昭和40. 4. 1
		科 長	松 永 一 隆	41. 4. 1
		専門研究員	寺 本 勝 四 郎	43. 4. 1
		専門研究員	山 内 芳 久	45. 5. 1
		専門研究員	太 田 泰 平	50. 8. 1
	電 子 科	科 長	永 田 良 人	46. 4. 1
		専門研究員	平 嶋 一 男	42. 4. 1
		研究員	指 方 顕	60. 4. 1
		研究員	高 見 修	平成2. 6. 2
		研究員	藤 本 和 貴	3. 4. 1
	海洋技術科	科 長	田 中 稔	昭和48. 6. 1
		研究員	兵 頭 竜 二	平成5. 4. 1
		研究員	大 脇 博 樹	7. 4. 1
化 学 ・ デ ザ イ ン 部	工業材料科	部長(兼)	長 田 純 夫	7. 4. 1
		科 長	平 木 邦 弘	昭和41. 4. 1
		専門研究員	久 保 克 己	48. 6. 1
		専門研究員	馬 場 恒 明	平成1. 4. 1
		研究員	瀧 内 直 祐	3. 4. 1
	食 品 科	科 長	坂 口 勝 實	昭和35. 12. 24
		専門研究員	松 竹 寛 康	42. 4. 1
		専門研究員	斎 藤 宗 久	48. 6. 1
		専門研究員	前 田 正 道	46. 5. 1
		研究員	晦 日 房 和	平成1. 10. 1
		研究員	河 村 俊 哉	3. 4. 1
	デザイン科	科 長	森 重 之	7. 4. 1
		専門研究員	山 内 英 夫	昭和53. 7. 1
		研究員	小笠原 耕 太郎	平成5. 4. 1
		研究員	重 光 保 博	8. 4. 13

7. 平成8年度に導入された主な設備

設 備 名	メーカ－型式	仕 様	補助事業等
発酵分解装置	(株)シーラック ゴミラックmini-50E	処理量：50kg/回 処理時間：3～6 時間/回 中・高温発酵	国庫補助 戦略事業
発酵培養装置	(株)丸菱バイオエンジニア MDN-3 L(S)型	全容：3L 攪拌：0.5～10rpm 温度調節：常温～80℃	国庫補助 戦略事業
LB膜成分分析・分 取器	日本ウォーターズ(株) 996	測定波長範囲：190～800nm 解像度：1.2nm 純度評価機能付	県 単
プラズマ測定装置	オーシャンオプティックス社 PSD-1000	波長：200～530nm 分解能：0.7nm グレーティング：1800本/mm	国補 地域 先導研究
全自動アーク溶造 装置	松下電器産業(株) AW-005C パナロボ	6軸 可搬重量 5kg オープンタイプ リーチ：943mm	国補 技術 開発研究
マイクロスクラッチ テスター	ナノテック(株) MST 型	最大荷重：30N スクラッチ速度：可変 光学顕微鏡付き センサー付き	国補 地域 先導研究
分光蛍光光度計	島津製作所 RF-1500	150w キセノンランプ 測定波長：220～750nm	国補 集積 支援開発
FMC溶造装置	前田電設・コウエイ 機械 特注	200～300rpm 上下：100mm 試料径：70～100mm 高周波溶解	国補 技術 開発研究
実体顕微鏡	(株)ニコン SMZ-V	倍率：7.5～75× 作動距離：155～40mm	県 単
融点測定機	(株)柴田科学器械工業 B-540	測定範囲：室温～400℃ 精度：～100℃(±0.3℃)	県 単
超高真空排気セット	日本真空技術(株) YTP-300SA	排気：300L/S 10 ⁻⁸ Pa 台 ピラニ真空計付き	国補 地域 先導研究
HiLoad システム50	(株)ファルマシアバイ オテク	UV モニター レコーダー付き	集積活性化 支援 県単
アミノ酸PICO-TAG ワークステーション	日本ウォーターズ(株)	オープン温度：100～150℃ 電源：115/220VAC	集積活性化 支援 県単
赤外線ゴールドイメ ージ炉	真空理工(株) E-410P	最高常用温度：1200℃ 8kw 加熱長：265mm 炉口径：52mm	国補 地域 先導研究
土壌三相計	大起理化工業(株) DIK-1121	圧力計：0～1kg/cm ² シリンダー：40φ×L100mm	県 単

8. 工業所有権

当センター職員が、発明、考案し、出願並びに権利取得等をした工業所有権は次のとおりである。

(平成9年3月31日現在)

No.	発明考案の名称	出願番号 公開番号	公告番号 登録番号	発明考案者	備考
1	麵線延伸装置	昭56-56417 昭57-170132	昭58-58056 1222374	渡海一、森田英毅、渡辺大和	(株)富士商工に 実施許諾
2	手延べ製麺装置	昭57-140537 昭59-31662	昭61-21045 1354197	森田英毅、渡海一、渡辺大和	
3	吸着性樹脂の合成方法	昭60-243082 昭62-101605	平5-20445 1813417	斎藤宗久	
4	乾麺用自動乾燥装置	昭61-109843 昭62-268981	平4-19466 1734391	森田英毅、渡辺大和	
5	乾麺用自動移送装置*	昭61-072319 昭62-186678	平1-15352 1799417	森田英毅、渡辺大和	
6	連続的ジャガイモ焼酎もろみ 製造方法	昭61-278956 昭63-133976	平2-11231 1585714	斎藤宗久	
7	脆性材料の割断加工方法	昭62-264763 平1-108006	平3-13040 1651809	森田英毅	
8	局部加熱による圧接方法	昭62-264764 平1-107983	平3-64231 1699490	森田英毅	
9	金属とセラミックの接合方法	昭63-6248 平1-183477	平6-86340	寺本勝四郎	
10	陶磁器の絵付け装置	昭63-141257 平1-313380	平5-39908 1861288	森田英毅、渡辺大和	
11	魚類の逃散防止装置	昭63-141258 平1-312948	平3-64091 1713977	森田英毅	
12	脆性材料の割断加工装置	平1-167356 平3-36000	平6-69680 1942282	森田英毅	
13	ウエハの割断方法	平2-237833 平4-118190		森田英毅、田中稔、田口喜祥、 前川俊一、稲嶺一、国井洋二	双栄通商(株)と 共同出願
14	ウエハの割断方法	平2-296408 平4-167985		森田英毅、田中稔、田口喜祥、 前川俊一、稲嶺一、国井洋二	双栄通商(株)と 共同出願
15	ワイン風人参酒の製造方法	平2-5974		斎藤宗久、山口隆男	大村市農協と 共同出願
16	可撓性発泡スチロール製品の 製造方法	平3-153080 平5-464		久保克己、土谷敏夫、林田光雄	マルサン化工 (株)と共同出願
17	基材表面に形成された 皮膜の開口気孔の測定方法	平3-162190 平4-359140	平7-33999 2014091	平木邦弘、佐藤進	
18	土壌微生物の増殖方法	平3-206974 平5-49468	平7-10229 1992971	久保克己、山田孝義、島田伯昭	(株)東和化学研究 所と共同出願
19	濾過材及び農薬濾過槽	平3-227519 平5-64794		久保克己、長田純夫、山田孝義、 小西勲	(株)東和化学研究 所と共同出願
20	制御装置	平3-237087 平5-53608		平嶋一男、指方顕、金氏一郎、 中村正幸、小野原健輔、富高英樹、 鯨伏政則	フュージョ ン・ファイブ (株)と共同出願

No.	発 明 考 案 の 名 称	出願番号 公開番号	公告番号 登録番号	発 明 考 案 者	備 考
21	甲羅からの有価成分抽出法	平 4 -149148 平 6 -25608	平 7 -42440 2042663	森重之	
22	セラミックス複合アルミニウム合金の製造方法	平 4 -162235 平 5 -33157		寺本勝四郎	
23	有機シリコン化合物薄膜の製造方法	平 4 -170823 平 6 -10132		馬場恒明、寺本功	中興化成工業 ㈱と共同出願
24	樹脂性球状微粉末の製造方法	平 4 -170824 平 6 -10133		馬場恒明、寺本功	中興化成工業 ㈱と共同出願
25	樹脂性基材表面への金属薄膜形成方法	平 4 -170825 平 6 -10131		馬場恒明、寺本功	中興化成工業 ㈱と共同出願
26	枇杷果実酒の製造方法	平 4 -220594		斎藤宗久、川田留義、森崎俊一	三和町と共同 出願
27	出汁様調味料の製造方法	平 4 -257113 平 6 -62792		斎藤宗久、古賀昭八郎、 加藤秀男、林田眞二郎	長工醤油味噌 ㈱と共同出願
28	出汁残滓を利用した旨味調味料の製造方法	平 4 -258816 平 6 -86653		斎藤宗久、古賀昭八郎、 加藤秀男、林田眞二郎	長工醤油味噌 ㈱と共同出願
29	ウラアカ紫蘇を原料とする色調の異なるリキュール類の製造方法	平 4 -326393		斎藤宗久	鷹島町と共同 出願
30	電気素子パッケージの防水防湿処理方法	平 4 -360905 平 6 -204353		馬場恒明、山田浩	九州電通㈱ と共同出願
31	水晶発振子の電極形成法	平 4 -360906 平 6 -204775		馬場恒明、山田浩	九州電通㈱ と共同出願
32	脆性材料の破壊靱性値測定方法	平 5 -15944 平 6 -201551	2521626	森田英毅、田中稔	
33	ケイ酸ソーダ系鋳物砂の再生回収方法	平 5 -160436 平 6 -344076	2548674	寺本勝四郎	
34	鋳鉄材を原料とする溶射材料	平 5 -222884 平 7 -34214		平木邦弘	
35	酸化物薄膜の形成方法	平 5 -204223 平 7 -54149		馬場恒明、渡辺一行、山口甚一郎	㈱陶通 と共同出願
36	魚種識別装置	平 5 -245690		指方頭、松尾博文、黒川不二雄、 長田純夫	
37	フッ素樹脂製チューブの表面改質法	平 5 -249112 平 7 -102090		馬場恒明、寺本功	中興化成工業 ㈱と共同出願
38	食肉の半調理加工品	平 5 -274315 平 7 -123949		松竹寛康、山崎剛之	丸東産業㈱ と共同出願
39	セラミックス複合マグネシウム合金の製造方法	平 6 -112234 平 7 -300633		寺本勝四郎	
40	脆性材料の切断方法	平 6 -121038 平 7 -323384		森田英毅、前川俊一、沖山俊裕、 白浜秀幸、横山敏幸、大仁田英信	双栄通商㈱・ 新技術事業団 と共同出願
41	脆性材料の切断方法	平 6 -121039 平 7 -323385		森田英毅、前川俊一、沖山俊裕、 白浜秀幸、横山敏幸、大仁田英信	双栄通商㈱・ 新技術事業団 と共同出願
42	切断加工方法	平 6 -121040 平 7 -323382		森田英毅、前川俊一、沖山俊裕、 白浜秀幸、横山敏幸、大仁田英信	双栄通商㈱・ 新技術事業団 と共同出願
43	脆性材料の切断方法	平 6 -126146 平 7 -328781		森田英毅、前川俊一、沖山俊裕、 白浜秀幸、横山敏幸、大仁田英信	双栄通商㈱・ と共同出願

No	発 明 考 案 の 名 称	出願番号 公開番号	公告番号 登録番号	発 明 考 案 者	備 考
44	磁気による亀裂・転位の 検出方法及び装置	平 6 -197543 平 8 -43354		山内芳久	
45	レーザ溶接の溶接状態 検出方法及び装置	平 6 -197544 平 9 -10970		山内芳久	
46	器物専用パッド印刷用 画像変換方法及び器物専用 パッド印刷用製版加工方法	(H 6 .11. 7)		森田英毅、福永昭夫、兼石哲也 武内浩一、石松隆和、森山雅雄	窯業技術センタ ーと共同出願
47	タイマイの甲羅からのタンパク 質の分離法並びにその分離 法で得られたタンパク質を用 いた抗体及びDNA	平 7 -97763 平 8 -269094		晦日房和	委託元の(株)日 本べっ甲協会 が出願
48	タイマイの甲羅由来のタンパ ク質及びその製造法	平 7 -97764 平 8 -266285		晦日房和	委託元の(株)日 本べっ甲協会 が出願
49	アルギン酸及びアルギン酸と の混合物を用いた、みそに発生 するチロシンの析出防止方法	平 7 -161343 平 8 -317768		河村俊哉、古賀昭八郎、福田久孝 林田眞二郎	長工醤油味噌 (株)と共同出願
50	尿流量計測解析装置	(H 8 . 2 . 5)		森田英毅、山田英二、斎藤泰 外 9 名	
51	べっ甲素材用板及び製造法	(H 8 . 3 . 29)		晦日房和	
52	帯状熱源による脆性材料の割 断加工方法	平 8 -196231		森田英毅、梶原邦夫、沖山俊裕 白浜秀幸、太仁田英信、末永知宏 木下耕一、前川俊一	双栄通商(株)・ 新技術事業団 と共同出願
53	複数点熱源による脆性材料の 割断加工方法	平 8 -196232		森田英毅、梶原邦夫、沖山俊裕 白浜秀幸、太仁田英信、末永知宏 木下耕一、前川俊一	双栄通商(株)・ 新技術事業団 と共同出願
54	電気抵抗を利用した乾燥用麵 の乾燥状態測定法	平 8 -315575		平嶋一男	
55	鋳型無し造形装置	平 9 -96803		太田泰平、森田英毅	

* は実用新案・アンダーラインは職員以外の発明者

(参考)

No	発 明 考 案 の 名 称	出願番号 公開番号	公告番号 登録番号	発 明 考 案 者	備 考
1	べっ甲の漂白方法	昭41-69138	昭45-21366 601161	松本昭嘉	権利放棄
2	真珠貝の真珠層を採取する方 法	昭42-32956	昭47-22786 671175	松本昭嘉	権利放棄
3	吸着性樹脂の合成方法	昭51-062668 昭52-146493	昭53-020557 940183	斎藤宗久	権利放棄
4	丸滓素材断面の正多角形転造 用工具	昭52-089467 昭54-24251	昭54-39336 1002125	森田英毅	権利放棄
5	突合せ溶接継手型曲げ試験用 治具	昭54-23314 昭55-123847	昭58-30207 1554297	森田英毅	権利放棄
6	べっ甲代替素材の着色方法			森重之	権利譲渡 (H 5)

II. 事業報告

1. 開発研究（研究内容は別冊の研究報告書を参照下さい。）

(1) 特別研究

研 究 項 目	担 当 者
1. 共同研究促進事業・科学技術振興事業団 ○海洋動物細胞における機能発現に関する研究 (’95～’99)	研 究 員 晦 日 房 和
2. 特定中小企業集積活性化支援開発事業・中小企業庁 ○知識ベース形中小船舶生産支援システムの開発研究 (’94～’96) ○麴発酵法による無塩天然エキスの製造技術の開発 (’96～)	電 子 科 長 永 田 良 人 専 門 研 究 員 前 田 正 道
3. ベッ甲原料転換等支援事業・通産省 ○ベッ甲端材の有効利用技術開発 (’96～) ○牛角等の利用によるベッ甲代替素材の開発 (’96～) ○商品化のためのデザイン開発 (’96～)	工業材料科長 森 重 之 工業材料科長 森 重 之 専 門 研 究 員 山 内 英 夫 研 究 員 小笠原 耕太郎
4. 戦略的地域技術形成のための研究開発・中小企業庁 ○焼酎粕等の飼料化及び発酵による肥料化の研究開発 (’95～’97)	食 品 科 長 松 竹 寛 康
5. 地域技術ネットワーク形成事業・中小企業庁 ○技術研究会（10研究会）開催事業（’94～’96）	機械金属部長 森田 英毅 他
6. 生活・社会基盤研究―地域先導研究・科学技術庁 ○環境に適合した材料の創出のための複合型表層改質技術 開発に関する基礎研究 (’96～’98)	専 門 研 究 員 馬 場 恒 明
7. 技術開発研究費補助金事業・中小企業庁 ○鋳型無し（FMC）造形法の研究 (’96)	専 門 研 究 員 太 田 泰 平 機械金属部長 森 田 英 毅
8. 県単独事業 ○海底堆積物の処理技術と環境汚染物質の分解技術とシミュレーション技術による大村湾再生技術の開発研究 (’96～’99) ○長崎技術研究会事業 (’93～)	海洋技術科長 田 中 稔 研 究 員 兵 頭 竜 二 研 究 員 大 脇 博 樹 全 研 究 員
○高機能性材料創出のための複合型表層改質技術の開発 と特性解析 (’96～’98)	専 門 研 究 員 馬 場 恒 明

共同研究

研 究 項 目	担 当 者
○水産加工残滓の生物学分解物と、その分解物の養殖魚用餌料化に関する研究 (’95～’96)	専門研究員 斎藤 宗久
○ウミガメ類の甲羅成分の比較と細胞ストレス応答の研究 (’95～’96)	研 究 員 晦 日 房 和
○硬質膜の低表面エネルギーに関する研究 (’96)	専門研究員 馬 場 恒 明

(2) 経常研究 (県単独事業)

研 究 項 目	担 当 者
1. 新素材 (シリコンウエハー) の高精度加工技術に関する研究 (’95～’97)	応用加工科長 松 永 一 隆
2. アーク溶射に関する研究 (’95～’98)	専門研究員 平 木 邦 弘
3. 新軽量化複合合金の強度評価技術の研究 (’96～’99)	専門研究員 寺 本 勝四郎
4. 知識工学応用マルチメディア方式技術教育システムの開発研究 (’96～’98)	専門研究員 山 内 芳 久
5. 三次元センサを用いたロボットの制御に関する研究 (’96～’98)	研 究 員 田 口 喜 祥
6. 中小船舶設計知識ベースの開発研究 (’96～’97)	電 子 科 長 永 田 良 人
7. 中小企業向け乾燥機用コントローラの開発 (’95～’97)	専門研究員 平 嶋 一 男
8. 生体信号を利用したコントロール装置の研究開発 (’94～’96)	研 究 員 高 見 修
9. マルチプロセッサによる検査・識別処理の高速化、高度化研究開発 (’96～’98)	研 究 員 指 方 頭
10. 動画像認識制御システムの開発 (’95～’97)	研 究 員 藤 本 和 貴
11. 人工酵素を用いた生体材料の分離精製と加工に関する研究 (’95～’97)	工業材料科長 森 重 之
12. 乳酸菌・酵母による有機質のリサイクルに関する研究 (’95～’97)	専門研究員 久 保 克 己
13. 鉄系鋳物の高機能化に関する研究 (’95～’96)	研 究 員 瀧 内 直 祐
14. 地域特産品の微生物制御と品質保持技術に関する研究 (’95～’97)	専門研究員 坂 口 勝 實

研 究 項 目	担 当 者
15. 水産加工残滓の発酵分解物からのアミノ酸とペプチドの分 取と精製 ('95～'97)	専門研究員 斎藤 宗久
16. 水産生物資源からの機能性食品素材の研究 ('95～'97)	研 究 員 河 村 俊 哉
17. パソコンによるパッケージDTPの研究 ('94～'96)	専門研究員 山 内 英 夫
18. 三次元形状入力技術の研究開発 ('96～'97)	研 究 員 小笠原 耕太郎
19. 分子シミュレーション手法による材料設計 ('96)	研 究 員 重 光 保 博

(3) 共同技術開発

共同開発課題	共同研究の相手／担当者
1. ひじき（鹿尾菜）饅頭について	岩元製菓舗／ 専門研究員 坂口 勝實
2. 味噌の製造工程から生じる大豆蒸煮液の肥料化に関する研究	長工醤油味噌協同組合／ 専門研究員 久保 克己
3. パラセイルのロープ巻取り捌き装置	(株)セブン開発／ 海洋技術科長 田中 稔
4. ひじき麺の商品開発について	合資会社荒木商会／ 専門研究員 坂口 勝實 専門研究員 前田 正道
5. うなぎ、あなごを用いたレトルト混ぜ御飯の素開発の継続及び長期保存の為食品検査体制の確立	(有)雲仙きのこ本舗／ 専門研究員 坂口 勝實
6. すりみ加工排水副生物の肥料化	長崎蒲鉾水産加工業(株)／ 専門研究員 久保 克己
7. 下水汚泥減量化システムの開発	(株)真崎商店／ 専門研究員 久保 克己
8. 下水汚泥減量化システムの開発	(有)水研機工／ 専門研究員 久保 克己
9. 水煮ジャガ芋のレトルト食品開発	大平食品(株)／ 専門研究員 坂口 勝實
10. 高速原子線とイオンビーム照射による薄膜作製と評価	久留米工業高等専門学校／ 専門研究員 馬場 恒明
11. 鰹だしの開発技術	(株)海産物なかしま／ 専門研究員 坂口 勝實
12. 枇杷酒の製造試験	三和町特産品販売促進委員会／ 専門研究員 斎藤 宗久
13. ダストフリー光学窓の開発	三菱重工業(株)長崎研究所／ 研究員 重光 保博
14. 炭素系薄膜の合成と構造解析	ナノテック(株)／ 専門研究員 馬場 恒明
15. 硬質木炭（白炭）の製造技術に関する研究	(株)山茶花高原ハーブ園／ 研究員 瀧内 直祐
16. 摺動面の耐摩耗性改善	振興産業(株)／ 専門研究員 馬場 恒明

共 同 開 発 課 題	共同研究の相手／担当者
17. 溶融亜鉛めっき製品の高品質化に関する研究	有田工業㈱／ 研究員 瀧内 直祐
18. 肉じゃが、豚汁、手羽先煮込、他セミレト商品の開発	㈱丸協食品／ 専門研究員 坂口 勝實
19. クロナマコの有効利用開発	大村湾水産業改良普及所／ 専門研究員 坂口 勝實
20. とうもろこしの食品開発と品質保持技術	(有)マリー・コーポレーション／ 専門研究員 坂口 勝實
21. 海藻アオサスープの開発	修行商事／ 専門研究員 坂口 勝實
22. 底質の減臭に関する開発	松尾建設㈱／ 専門研究員 久保 克己
23. 耐食性樹脂コーティング技術の開発	㈱大島造船所／ 専門研究員 馬場 恒明
24. 米ジャム開発	松浦異業種交流研究会／ 専門研究員 坂口 勝實
25. みかん缶詰の工程と製品の品質管理法について	相浦缶詰㈱／ 専門研究員 坂口 勝實
26. 「超音波パルス反射方式」による鋼管内部腐食診断に関する研究開発	三基システムエンジニアリング㈱ 研究員 指方 顕
27. イントラネット構築	ワイドビジョン／ 研究員 藤本 和貴
28. 文化財保存修復技術に関する研究	成蹊大学 平尾大輔／ 専門研究員 馬場 恒明
29. 加硫ゴム表面の活性化	㈱ディスカバリー／ 専門研究員 馬場 恒明
30. 潮流・潮位シミュレーション水槽の制御	㈱海洋開発技術研究所／ 研究員 兵頭 竜二

2. 長崎技術研究会

各研究員が得意技をそれぞれ公表し、「この指とまれ方式」で募った産学官の会員と一緒に研究開発や技術取得等の場として活動した。

No	部 会 名 称	幹 事	会員数	8年度開催
1	レーザ応用技術研究会	機械金属部長 森田英毅	5	5
2	エキスパートシステム技術研究会	応用加工科 山内芳久	1	7
3	ロボティクス技術研究会	応用加工科 田口喜祥	4	——
4	窯業機器技術研究会	電子科 平嶋一男	5	1
5	インターネット技術研究会	電子科 藤本和貴	40	1
6	バイオメカニクス技術研究会	電子科 永田良人	14	5
7	計測制御技術研究会	電子科 高見修	12	2
8	画像処理技術研究会	電子科 指方頭	7	4
9	精密加工技術研究会	応用加工科 松永一隆	17	4
10	溶射技術研究会	応用加工科 平木邦弘	6	4
11	非鉄铸件複合技術研究会	応用加工科 寺本勝四郎	7	4
12	鼈甲対策技術研究会	工業材料科 森重之	5	——
13	土壤微生物応用技術研究会	工業材料科 久保克己	5	4
14	機能性薄膜技術研究会	工業材料科 馬場恒明	27	6
15	超高圧食品技術研究会	食品科 松竹寛康	4	2
16	食品加工技術研究会	食品科 坂口勝實	25	5
17	醸酵技術研究会	食品科 斎藤宗久	5	9
18	調味食品技術研究会	食品科 前田正道	12	4
19	バイオ技術研究会	食品科 晦日房和	5	4
20	非破壊検査技術研究会	応用加工科 平木邦弘	7	4
21	C Gデザイン技術研究会	デザイン科 山内英夫	4	1
22	海洋集積技術研究会	海洋技術科 田中稔	42	1
23	機能性食品技術研究会	食品科 河村俊哉	6	1
24	鼈甲細工技術研究会	工業材料科 森重之	(9)	4
25	機能性熱処理技術研究会	応用加工科 太田泰平	3	5
26	金属融体技術研究会	工業材料科 瀧内直祐	3	——
27	環境県土技術研究会	海洋技術科 大脇博樹	14	4
28	リモートセンシング応用技術研究会	海洋技術科 兵頭竜二	2	——
29	デザイン工学技術研究会	デザイン科 小笠原耕太郎	4	7
30	長崎技術研究会応援会	所 長 長田純夫	2団体	10

1. レーザ応用技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	5.13	G S Q (株)	レーザ切断装置の自己補正手法の検討
2	6.27	〃	2点加熱の精度に及ぼす効果
3	8.6	〃	液晶ガラス材質変更と動向
4	10.17	長 建 工 業 (株)	超磁歪材による洗浄機の可能性
5	11.1	双 栄 通 商 (株)	補助冷却機構と精度に及ぼす効果

2. エキスパートシステム技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	12.16	工業技術センター	・知的生産技術のシステム化について 産学官のニーズ・シーズ分析概論
2	12.17	〃	・溶接における協調作業について 協調作業の条件と問題点の抽出
3	1.10	〃	・コンピュータ支援による協調作業(CSCW)について グループウェア実現のための問題点抽出
4	1.24	〃	・知識工学応用マルチメディアのコミュニケーションモデルについて 技術システム論とその問題点
5	2.7	〃	〃
6	2.21	〃	〃
7	3.28	〃	・1年間の成果の検討 事業総括と事業展開について

3. ロボティクス技術研究会

4. 窯業機器技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	1.13	フィージョンアイブ事務所	特許の検討

5. インターネット技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	8.9	工業技術センター	Java & Hot Java 講習会 (参加者 約60名) • Java & Hot Java 概要 • デモ • Java 技術概要 • Q & A

6. バイオメカニクス技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	12.11	工業技術センター	商品の開発経過報告 地域情報ネットワーク構想検討 特別講演:「インテリジェントパワー電子回路とDSPの応用」
2	12.18	㈱西九州合成	音声ガイド装置の金型の評価 ガイド装置金型の問題点とその対策
3	1.31	ハウステンボス	音声ガイド装置の現場評価 音声ガイド装置のカタログ試作
4	3.19	長崎大学 地域共同研究センター	新研究計画の提案
5	3.21	佐世保工専	最近の画像伝送処理技術について

7. 計測制御技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	9.20	工業技術センター	1.講演:「低周波数電源にて駆動されるロータリー圧縮機の性能解析」 東洋装設(株) 常務取締役 佐藤 豊氏 2.開発事例紹介: ①「海水を利用したクラックアイス全自動製氷機の開発」 (株)大東エンジニアリング 長岡 達治氏 ②「画像処理応用事例」 長崎大学工学部機械システム工学科 石松 隆和 教授 ③「バルーンを使つての画像計測」 (有)ベルエンタープライズ社 代表取締役 井上 哲朗氏 3.技術トピックス紹介: ①TV会議、障害者ワープロ、テキスト音声合成ユニット、蛍光灯用インバータ電源のデモ ②3次元画像構築法について
2	3.14	〃	1.講演:「イタリアの研究機関について、及びアドバンスト制御の現場採用状況について」 長崎大学工学部 電気情報工学科 辻 峯男 助教授 2.研究事例紹介: ①ライトペン応用デバイス ②マスターアームを用いたロボットの協調制御 3.技術トピックス紹介: ①ヘッドマウントディスプレイのデモ ②超音波モータ、サーマルビジョン、ハイスピードビデオカメラのデモ ③各種センサ紹介 (人感センサ、触覚センサ、曲げセンサ、加速度センサ等)

8. 画像処理研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	8.28	長 崎 大 学	「見えないところを検査する画像処理技術について」 1) 画像処理技術による非破壊検査全般について 2) 配電線鉄塔用さび検出の方法について、外
2	10.30	〃	「超音波を用いた鉄サビ検出について」 1) 超音波厚さ計の機能と取り扱い方について 2) 伝達媒質について、外
3	2.24	〃	「超音波を用いた鋼管腐食検出について」 1) ある機関の研究計画書の検討 2) 配管腐食測定器の検討 3) 研究テーマ関連の特許検索結果の内容検討、外
4	3.14	〃	「超音波画像処理による鋼管内部腐食検出」 1) パイプコロージョンチェッカーに関する調査報告 2) それ以外の製品動向、外

9. 精密加工技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	5.24	工業技術センター	○第22回研究会（生産加工技術講習会と実演） 33名参加講習会内容 1) 講習テーマ：「各種難削材料の切削加工技術の勘どころ！」 講 師：東芝タンガロイエンジニアリング㈱ 技術部担当部長 渡辺 忠明 氏 ・各種難削材料の特性。 硬さ、強度、加工硬化、熱伝導率、工具との親和性、他。 ・各種難削材料の切削加工条件の目安。 特に耐熱合金（インコネル、ハステロイ等）、チタン合金。 ・工具の寿命と、V-T線図の読み方。 ・各種難削材料の切削加工例の紹介。 ナイモンック、インコネル、チタン合金、カーペンタ、他。 2) 加工実演 「SUS304材のコーティング工具による旋盤加工、フライス加工について」 3) 質疑応答 本日の講習会内容及び、生産現場での問題点等について、活発な質疑応答を行った。
2	6.4	〃	○第23回研究会（総会と生産技術講習会） 10名参加総会内容 ・平成7年度の事業概要報告。 ・平成8年度の事業計画及び、活動方針についての討議。 ・当研究会に対する、会員からの要望、他。 講習会内容 1) 講習テーマ：「難削材料の特性と、機械加工技術について（その2）」 講 師：長崎総合科学大学 機械工学科 工学博士・教授 大黒 貴 氏 ・難削材料の種類とその特性。 ・難削材料の切削加工におけるトラブル要因とその解決手法。 ・難削材料の被削性と、切削加工条件。 2) 質疑応答。
3	10.22 ～10.24	〃	○第24回研究会（ワイヤ放電加工技術研修） 4名参加研修内容 ・ワイヤ放電加工技術の概要。 ・パートプログラムの作成方法。 ・加工条件及び、種々の加工方法の解説。 ・MD I（手動データ入力）による、プログラミング法、他。 ・ワイヤ放電加工機の操作と、加工実習。 講 師：三菱電機㈱ 名古屋製作所 メカトロ技術部加工技術課 長尾 邦彦 氏 長崎県工業技術センター 応用加工科長 松永 一隆

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
4	2.28	工業技術センター	○第25回研究会（生産管理技術講習会） 25名参加 講習会内容 1）講習テーマ：「ISO9000の概要と、計測機器の管理について」 講 師：(株)ミットヨ 営業企画部付 佐久間健司 氏 ・ ISO9000の概要と取得によるメリット。 ・ ISO9000の品質システムの要求項目20の解説。 ・ ISO9000の取得方法と、企業としての対応法。 ・ 測定機器の管理と校正の具体例、他。
随時	随時	工業技術センター 各 企 業 現 場	○新製品開発、新技術導入のための、簡易共同研究。 ○精密加工技術、精密測定技術等の情報提供、技術指導。

10. 溶射技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	1. 30	セントヒル長崎	1) 第一化工(株) 代表取締役 面出 隆男 氏 「日本溶射協会防食委員会の活動と溶射皮膜の腐食試験結果」 2) 九州工業大学 教授 岸武 勝彦 氏 「非晶質鉄合金溶射皮膜の耐食性」 3) 富士岐工産(株) 課長 森 譲治 氏 「高周波誘導加熱法による自溶性合金加工の研究」 4) 有明工業高等専門学校 教授 川瀬 良一 氏 「溶射皮膜の非破壊評価とプラスチック溶射による防食」 5) 長崎県工業技術センター 平木 邦弘 「溶射による鋳物の補修に関する研究」
2	3. 19	〃	1) 群馬大学 教授 天田 重庚 氏 「溶射皮膜の積層粒の形状特性」 1. 溶射皮膜基材間の界面の状況 2. 溶射粒子の扁平化の状況 2) 島根県立工業技術センター金属科長 堀江 譲 氏 「溶射による機能材料開発への取組」 1. 蛍光発光溶射皮膜製作 2. 半導体溶射皮膜製作 3. 天然地場資源の溶射材料としての活用 3) 東京メタリコン(株) 取締役技術部長 石川 量大 氏 「溶射皮膜の基本的性質及び長期暴露した溶射皮膜の防錆性」 1. 溶射皮膜の密着性（ブラスト角度と溶射角度） 2. アルミ溶射皮膜の特性（AIの溶射皮膜の酸化膜） 3. 各種塩水噴霧試験と大気暴露試験の問題点 4. 実施例 5. 将来の展望 4) 長崎県工業技術センター 平木 邦弘 「工業技術センターで実施した溶射製品の試作」 1. 製作した溶射金型による発泡スチロール製品の製作事例 2. 装飾品への溶射の応用例

11. 非鉄鑄物複合技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	7.5	工業技術センター (参加者 5 名)	1. 講演「TiGブレージングによるメタルライニング法の研究計画並びにデータ分析」 小戸商店 小戸 鶴夫 氏 2. 研究紹介「溶融Zn-Niめっきに関する研究」 工技センター 瀧内 直祐 3. 技術報告「ケイ酸ソーダ系鑄物砂の再生回収法」 工技センター 寺本勝四郎
2	10.24	〃 (参加者 7 名)	1. 講演「エステル硬化フェノール砂の特性とその再生について」 長崎県技術インストラクター 鵜池 実 氏 2. 講演「第110回米国鑄物協会会議出席報告」 長崎県技術インストラクター 鵜池 実 氏 3. 質疑 4. 研究事例報告「発泡バルーン模型を利用した消失模型鑄造法の開発」(中間報告) ㈱島原鉄工所 代表 内島 克己 氏 5. 質疑
3	1.24	〃 (参加者 8 名)	1. 講演「アラバマ大学における凝固関連研究の紹介」 長崎大学 香川 明男 氏 2. 質疑 3. 研究事例報告「消失模型鑄造法開発に関わる共同研究中間報告(サンプル試作)」 ㈱島原鉄工所 代表 内島 克己 氏 4. 質疑
4	3.14	〃 (参加者 7 名)	1. 講演「耐摩耗材料の破壊じん性」 国立久留米高専 本田 義興 氏 2. 質疑 3. 次回の開催案内等

12. 蠶甲対策技術研究会

13. 土壌微生物応用技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	11.19	工業技術センター	・大豆煮汁の液肥化について ・フロスの発酵肥料化について
2	12. 6	長崎蒲鉾水産加工業協	・大豆煮汁の堆肥化について ・フロスの発酵肥料化について
3	1.16	工業技術センター	・フロスの発酵肥料化について ・活性汚泥の堆肥素材化について
4	3. 5	〃	・フロスの発酵肥料化について ・活性汚泥の堆肥素材化について

14. 機能性薄膜技術研究所

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	7. 5	工業技術センター	幹事馬場が「最近の材料表層改質技術の紹介」を行い、新情報を紹介し、また材料開発で重要な表面・局所分析についてその原理と得られる情報について話した。さらに名古屋大学工学部材料プロセス工学科高井治教授が「ドライプロセスによる炭素系薄膜の作製」について講演した。
2	10. 8	〃	理化学研究所表面解析室岩木正哉室長による「イオンビームによる機能性表面の創成」をテーマに表層改質に関する世界的な動きなど技術紹介に関する講演会を開催した。
3	11.27	〃	プラズマプロセスと応用に関する講演会を開催した。まず長崎大学工学部材料工学科高尾雄二助手が「常圧マイクロ波プラズマによる環境汚染物質の分解」、「窒化アルミニウム粉末の表面撥水化処理」をテーマに研究紹介を行い、佐賀大学理工学部電気工学科藤田寛治教授が「プロセスプラズマの最近の応用技術」に関する講演を行った。
4	1.24	〃	幹事馬場が当所で行っている薄膜、表面改質技術開発研究に関する研究紹介を行い、双栄通商(株)猪居武顧問が「ゾルーゲル法による生体材料の開発」について講演し、早稲田大学客員教授高麗大学工科大学金炳憲教授が「ゾルーゲル法により作製した Nb ドープ PZT 薄膜の誘電及び電気的特性」について講演した。
5	2. 3	〃	千葉工業大学精密機械工学科高谷松文教授による「マイクロ波プラズマ CVD によるダイヤモンド合成」、オーストラリア国立計測研究所首席研究官 L. Wielunski 氏による「イオン注入によるポリマー及び炭素表面の機械的及び構造的変化」、工技院名古屋工業技術研究所中尾節男主任研究官による「イオンビーム照射による薄膜の結晶性向上及び結晶成長」についての講演会を開催した。

15. 超高压食品技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	6.7	工業技術センター	1.平成8年度事業計画 2.加工肉の保存試験経過について報告 3.従来法と高压処理大豆味噌の特徴と問題点について検討 (1)日本食品低温保蔵学会発表の質問内容 (2)風味向上と酵素の影響 (3)調味成分分析の必要性 (4)軟化しない大豆の検討
2	8.9	〃	1.これまでの高压食品の開発状況について (1)特許情報 (ジャム・ジュース・漬物加工他) (2)技術開発 (乳製品、畜肉および魚肉加工品他)

16. 食品加工技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	5.24	工業技術センター	①H8年度研究会事業計画について ②情報交換 1. 共同技術開発と地域特産品の取り組みについて 2. H8年度食品加工技術研究会の活動方針について 3. その他 工業技術センター 坂口 勝實 出席者：16企業 18人
2	7.26	相 浦 缶 詰 (株)	①工場見学 相浦缶詰(株) 本社工場 ②特別講演 「加工食品の栄養表示制度の改正について」 長崎大学 教育学部 教授 農学博士 玉利 正人 ③情報交換 (研究紹介) 工業技術センター 坂口 勝實 ④その他 出席者：17企業 (団体) 21人
3	10.8	工業技術センター (株) 荒 木 商 会	①特別講演 「最近の食品開発のキーワードとパッケージング」 トッパンアイデアセンター西日本 チーフディレクター 山科 良太 ②情報交換 「技術相談からみた食品開発の諸問題について」 工業技術センター 坂口 勝實 ③その他 ④工場見学 (株)荒木商会 出席者：16企業 18人

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
4	11.29	工業技術センター	①特別講演 1. 食品の品質保持と栄養表示 2. 食品衛生面からみたHACCP導入と品質管理技術 農林水産省 東北農業試験場 企画連絡室長 農学博士 石谷 孝佑 ②情報交換 「技術相談からみた食品開発の諸問題について」 工業技術センター 坂口 勝實 前田 正道 ③その他 出席者：21企業（団体）25人
5	3.12	テクノポリス財団 第一研修室	①特別講演 「食品工場におけるこれからの微生物制御について」 石川県農業短期大学 教授 農学博士 矢野 俊博 ②情報交換 (有)草加家、(有)荒木商会、その他 ③その他 出席者：20企業（団体）24人

17. 醗酵技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	5.28	工業技術センター	融合のための酵母の選定などについて
2	6.26	〃	細胞融合の方法、火落菌などについて
3	7.4	〃	小仕込試験、用水中の微生物について
4	7.5	〃	火落菌の検査について
5	7.16	〃	甘酒中の微生物について
6	9.26	〃	清酒製造における微生物管理について
7	10.29	太陽酒造(株)	融合酵母を使用した大型仕込について
8	3.7	〃	融合酵母で得た清酒の評価について
9	3.8	〃	〃

18. 調味食品技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	6.20	工業技術センター	平成8年度事業計画についての打ち合わせ 1. 平成8年度研究会会員の紹介 2. 技術顧問の紹介 3. 研究会会員の課題設定について（10名参加）
2	8.21	(株)長崎清水	蒲鉾製造工場の見学 地元特産品の販売コーナーの運営について（8名参加）

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
3	12.10	長崎蒲鉾水産業協	・冷凍すり身製造工程の見学 ・蒲鉾用調味エキスのパイロットプラントの見学 ・丸政水産冷凍加工設備の見学（10名参加）
4	3.12	工業技術センター	平成8年度研究会実施状況報告（3名参加）

19. バイオ技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	9.6	工業技術センター	・地域技術ネットワーク事業の説明会 ・科学技術振興事業団の受託研究進捗状況に関する討論会
2	11.8	〃	・ネットワーク事業中間報告会 ・講演会 講師：宮崎医科大学講師 池田 哲也先生 内容：海洋生物由来の生理活性ペプチドのスクリーニング
3	1.14	〃	・ネットワーク事業中間報告会 ・講演会 講師：広島大学生物生産学部教授 吉村 幸則先生 内容：動物の繁殖における生態機能
4	3.29	〃	・ネットワーク事業成果報告会 ・講演会 講師：水産庁中央水産研究所室長 淡路 雅彦先生 内容：真珠形成メカニズム及び最近の話題

20. 非破壊検査研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	5.29	工業技術センター	今年度事業の打ち合わせ NDIの長崎での試験実施について 研究発表会について 技術講演の講師、テーマについて 参加者11名
2	9.6	〃	講演会 『最近の溶接の現状と非破壊検査』 講演者 九州工業大学 教授 加藤 光昭 氏 『最近の表面検査技術の紹介』 講演者 栄進化学(株) 工場長付 佐藤 清士 氏 『最新のデジタル式超音波探傷技術の紹介』 講演者 日本パナメトリックス(株) 矢本 守 氏 『産業用X線CT装置の現状と今後の動向』 講演者 (株)日立製作所 加藤 健一 氏 参加者136名 参加者24名
		長崎市（懇談会）	

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
3	11.19	工業技術センター	講演会 『火力発電ボイラーにおける非破壊検査』 講演者 三菱重工業㈱長崎研究所 主査 岩本啓一氏 『平板溶接部用自動式次磁粉探傷装置の開発』 講演者 三菱検査㈱ 主任 中田 義人 氏 『ボイラーチューブ溶接部自動超音波探傷装置の開発』 講演者 三菱重工業㈱長崎造船所 辻野 尚哉 氏 『炭酸ガス半自動溶接のポイント』 講演者 長崎県工業技術センター 平木 邦弘 氏 参加者58名
4	3.9	西彼杵郡時津町	講習会 『放射線検査技術 (RT)』 東亜非破壊検査㈱長崎出張所副所長 東 徹 氏 参加者24名 『磁気探傷検査技術 (MT)』 講 師 三菱検査㈱ 主任 中田 義人 氏

21. CGデザイン技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	6.21	工業技術センター	会計報告。DTP技術について

22. 海洋集積技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	6.19	て ん 新	研究開発課題の掘り起こしと課題の検討

23. 機能性食品技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	12.11	工業技術センター	人参の有効利用についての検討会

24. 鼈甲細工技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	7.26	日本ベッ甲協会	H8年度研究テーマの選定についての検討
2	11.7	工業技術センター	H8年度研究テーマの進捗状況についての打合せ
3	11.27	日本ベッ甲協会	H8年度研究のテーマの技術的問題点についての検討
4	3.21	〃	H8年度研究の成果についての報告と検討

25. 機能性熱処理技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	8.1	工業技術センター	手打刃物協同組合馬場重雄理事長より「地域中小企業創造力形成事業」の採択の経過、多層鋼による利器工匠器の開発にかかる先進地研修等の事業説明
2	8.19	長崎県手打刃物協 事 務 所	①地域中小企業創造力形成事業の先進地視察説明（スケジュール） ②懇談会内容の回答詳細 ③海老切りばさみ試作検討 ④機能性熱処理技術研究会での積層ステンレス鋼による墨流し包丁の試作、外添付資料の説明（幹事）
3	9.2 ～9.4	福 井 県 新 潟 県	多層鋼による利器工匠具の開発にかかる先進地研修
4	1.21	工業技術センター	講師 「アラバマ大学における凝固関連研究の紹介」 講師 長崎大学 香川 明男
5	3.26	工業技術センター	講師 「刃物鋼の熱処理について」 講師 技術士 竹村 和夫

26. 金属融体技術研究会

27. 環境県土技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	7.26	工業技術センター	本年度の研究会の研究方針について 環境に関するテーマを討議する場とすること、幹事の研究テーマを「海藻を用いた海域浄化策」とすることを報告し、同意を得た。
2	12.4	〃	検討の進捗状況について 「海藻を用いた海域浄化策」の進捗状況を報告し、問題点について討議した。
3	12.13	〃	検討現場の視察 「海藻を用いた海域浄化策」の検討現場であるハウステンボス運河を視察し、招聘した講師より指導を受けた。
4	3.19	〃	成果の報告と今後の課題 本年度の検討結果の報告と今後の方針について討議した。

28. リモートセンシング応用技術研究会

29. デザイン工学技術研究会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	7. 2	工業技術センター	・各会員の現在の業務状況について紹介 ・中小企業の業務におけるデザインの位置付け及び問題点について検討
2	10.30	〃	・Windows 版多変量解析ツールの仕様（内部構造）と α 版評価 ・三次元コンピュータグラフィックス技術の業務での活用可能性について検討（新規取り組みテーマ）
3	11.28	〃	・Alias Studio を用いた三次元コンピュータグラフィックス技術動向の講習会／実習 1. Alias の概要と基本機能
4	12. 5	〃	〃 2. カーブとサーフェスのモデリング技術（その1）
5	12.12	〃	〃 3. カーブとサーフェスのモデリング技術（その2）
6	12.19	〃	〃 4. レンダリング技術
7	1.16	〃	〃 5. アニメーション技術と総括

30. 長崎技術研究会応援会

回 次	月 日	開 催 場 所	内 容
1	4.11	工業技術センター	技術立県道場、科学・産業技術経営者連盟における幹事会において長崎技術研究会の状況及び計画等について報告し、今後の指針のアドバイスを受けた。
2	5.31	〃	〃
3	6.18	〃	〃
4	6.27	〃	〃
5	7.22	〃	〃
6	8.22	〃	〃
7	10. 4	〃	〃
8	11. 7	〃	〃
9	11.12	〃	〃
10	12. 2	〃	〃

3. 技術指導

(1) 技術アドバイザー

新製品や新技術の開発を支援するため、技術力と経験豊富な技術アドバイザーを派遣し、指導を行った。

① 総括表

業 種	食 品	機 械	金 属	その他の 製造業	情報 サービス	そ の 他	計
指 導 企 業 数	9	2	3	2	3	0	19
技術アドバイザー による指導延日数	32	4	7	10	10	0	63
1企業当り指導日数	最 長		最 短		平 均		
	5		1		3.3		

部門別実績

科 名	アドバイザー		職 員	
	企 業 数	指 導 日 数	事前調査	同行調査
応用加工科	4	11	4日	9日
電 子 科	3	10	1	6
海洋技術科	1	3	0	1
工業材料科	2	7	0	3
食 品 科	6	17	2	8
デザイン科	3	15	4	4
計	19	63	10	33

② 企業別指導状況

業種	企 業 名	従業員数	指 導 員		指 導 項 目	指導 日数
			アドバイザー	担当職員		
食品	重屋酒造(名)	5	福島安義	山内英夫	パッケージデザイン	5
食品	(株)海産物なかしま	26	玉利正人	坂口勝實	商品の品質保持技術 製品開発	4
食品	丸庄	2	玉利正人	前田正道	食品加工・保存技術	2
食品	(有)真崎屋製餡所	6	池田稔	河村俊哉	製品保存技術	2
食品	(有)大串食品	18	野崎征宣	坂口勝實	製品開発・品質保持 技術	4
食品	北魚目第一漁業・協	21	福島安義	山内英夫	パッケージデザイン	5
食品	(有)萬屋	4	黒崎寛二	斎藤宗久	糀の製造技術	3
食品	(株)ナカコー	65	福島安義	山内英夫	パッケージデザイン	5
食品	(有)宝来屋	12	玉利正人	前田正道	新商品の開発	2
金属	大東和鉄工(有)	14	日高一憲	松永一隆	切削加工技術	2
金属	(株)峯陽	104	大黒貴	瀧内直祐	鋳鉄の機械加工	2
金属	(株)中村製鋳所	35	松本巖	寺本勝四郎	非破壊検査技術	3
機械	中興化成工業(株) 松浦精機工場	75	日高一憲	松永一隆	管理技術	1
機械	(有)平田ライトニング	7	桂木義夫	田中稔	発電装置	3
塗装	(有)川口塗装産業	5	原口紀	松永一隆	炉の開発	5
産廃	(株)ディスカバリー	7	原悟	馬場恒明	ゴム粉利用技術	5
情報	ワイドビジョン	39	長嶋豊	永田良人	イントラネット構築 技術	4
情報	(有)ベルエンタープライズ	6	石松隆和	藤本和貴	画像処理技術	3
情報	(株)日本ビジネスソフト	36	石松隆和	高見修	試作装置の改良他	3

(2) 技術相談

件数等 相談目的	機 械 金 属 部			化学デザイン部			計
	応 用 加工科	電子科	海 洋 技術科	工 業 材料科	食品科	デザイン科	
量的生産性 (含工程改善)	36	2	—	5	52	2	97
品質改善	21	4	2	40	117	—	184
原価低減	4	—	1	3	—	—	8
納期短縮	—	—	—	—	—	—	—
労働安全衛生	7	—	—	2	—	1	10
公害問題	—	—	4	22	11	—	37
試験・研究	97	17	17	239	42	9	421
加工技術	73	4	—	8	231	1	317
デザイン	—	—	—	—	—	32	32
新製品開発	44	334	39	11	12	8	419
その他	16	81	32	15	167	3	308
計	298	442	95	345	632	56	1,868

4. 依頼試験

実績表

部門別	年度 種類	平成 8 年度		平成 7 年度		平成 6 年度	
		件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)
物理試験	強度 (金属)	5,148	7,207,200	1,970	2,561,000	1,397	1,816,100
	かたさ試験	10	14,400	72	85,200	37	44,000
	組織試験	54	268,700	13	31,800	6	19,800
	材料加工	13	21,300	9	10,800	56	69,200
	精密測定	31	28,000	34	23,800	16	11,200
	その他	—	—	—	—	—	—
化学試験	金属・鉱物類	56	253,200	38	163,400	31	124,100
	食 品	149	402,600	229	593,000	(14) 124	322,800
	工業原料製品	10	42,300	26	94,600	5	20,500
	水 質	41	113,600	13	32,700	(12) 20	51,200
	燃 料	—	—	—	—	1	3,300
	定性分析	216	1,117,800	54	249,300	(3) 31	134,900
デ ザ イ ン		(1) 3	30,800	(5) 2	5,800	3	24,700
その他理化学試験		41	296,600	9	59,000	1	7,400
証 明		4	1,400	1	350	—	—
計		(1) 5,776	(13,300) 9,797,900	(5) 2,470	3,910,750	(29) 1,728	2,649,200

※ () 内は手数料免除分で外数

5. 設備開放

(1) 設備使用実績

区分	年度	平成 8 年度	平成 7 年度	平成 6 年度
件 数		(3) 113	(5) 123	(1) 130
金 額 (円)		215,370	353,800	415,520

※ () 内は使用料免除分で外数
※件数は設備件数

(2) 設備使用目的別集計

目的	年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度
基礎研究		17	13	17
新製品開発		20	24	12
生産技術開発		4	3	1
製品の改良・改善		6	7	10
品質管理		10	8	7
品質証明		18	19	28
苦情処理		0	0	1
その他		7	27	10
計		82 (件)	101 (件)	86 (件)

※件数は申請件数

(3) 設備別使用時間

設備機械名	使用時間	設備機械名	使用時間
万能材料試験機	3H	無響室	5H
オートグラフ	6	デジタルLCZメータ	2
ノコ盤	10	デジタルマルチメータ	1
マイクロビッカース試験機	4	音響計測システム	4
曲げ試験機	7	フーリエ変換赤外分光光度計	4
小型旋盤	4	卓上型オートグラフ	11
ボール盤	5	引っかき硬さ試験機	2
表面粗さ計 (サーフコム)	4	原子吸光分光光度計	1
振動試験装置	76	塩乾湿複合サイクル試験機	24
スペクトラムナライザー	3	ビッカース硬度計	1
シールドルーム	3	水分活性測定器	3
電源環境試験システム	18	高温高圧調理殺菌試験機	15
デジタルACパワーメータ	2	ヒートシーラー	6
超低温恒温恒湿器	91	パソコン	8
雑音総合評価試験機	14	パソコン研修システム	63
		合計30機種	400H

6. 各種会議開催

月 日	内 容	参加人員
7.24	講演会 「地方公設試の望ましいあり方と人材育成について」 岡山県工業技術センター所長 川崎 仁士	30名
8.30	講演会 「工業技術センターの使命観について」 和歌山県工業技術センター所長 田端 英世	30名
9.6	非破壊検査技術講演会 (於：工業技術センター) 主催：非破壊検査技術研究会 ・「最近の溶接の現状と非破壊検査について」 九州工業大学 教授 加藤 光昭 ・「最新の表面検査技術の紹介」 栄進化学㈱ 参事 佐藤 清士 ・「最新のデジタル式超音波技術の紹介」 日本パナメトリックス㈱ プロダクトマネージャー 矢本 守 ・「産業用X線CT装置の現状と今後の動向」 ㈱日立製作所 加藤 健一	136名
9.12	全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議 (於：大村市) 1 開会 2 挨拶 3 議事 ・10議題について討議 ・次期開催県について 4 閉会 特別講演 「中小企業の生き方」 科学・産業技術経営者連盟 黒瀬 正行	120名
9.13	現地研修 ・大村ハイテクパーク ・焔博覧会	120名
11.19	先端検査技術研究発表会 (於：工業技術センター) 主催：非破壊検査技術研究会 1. 「火力発電ボイラーにおける非破壊検査」 三菱重工業長崎研究所 主査 岩本 啓一 2. 「ボイラーチューブ溶接部自動超音波探傷装置の開発」 三菱重工業長崎造船所 品質保証部 辻野 尚哉 3. 「平板溶接部用自動式磁粉探傷装置の開発」 三菱検査㈱ 主任 中田 義人 4. 「炭酸ガス溶接の要点」 工業技術センター 専門研究員 平木 邦弘	58名

7. 外部への研究発表

(1) 口頭発表

月 日	学 会 等 の 名 称	発 表 テ ー マ	発表者等
4. 3	平成8年度春季全国大会 シンポジウム (溶接学会)	溶接エキスパートシステム	山内芳久、他
4. 9	Material Research Society, 1996 Spring Meeting アメリカ	Laser Wavelength Dependent Properties of BN Thin Films Deposited by Laser Ablation	馬場恒明、他
5.24	Joint International Symposium of the '96MRS -J Conference and the 3rd Ion Engineering Conference	Pulsed laser deposition of tungsten carbide thin films on silicon(100) substrate	馬場恒明、他
5.24	Joint International Symposium of the '96MRS -J Conference and the 3rd Ion Engineering Conference	Preparation of amorphous carbon thin films by ion beam assisted ECR-plasma CVD	馬場恒明、他
5.25	日本食品低温保蔵学会	高圧処理した大豆が味噌の熟成におよぼす影響について	松竹寛康、他
5.28	研究・技術計画学会 人材分科会	科学技術による県勢発展の構図	長田純夫
5.30	第4回資源環境連合部会 総会 地域連携研究発表会	海底堆積物と雲仙普賢岳噴出物との固化技術に関する研究	田中 稔 大脇博樹
6. 7	平成8年度水産利用加工 研究推進全国会議	魚加工残渣を原料とする魚醬風発酵調味料の開発	前田正道、他
6.24	日本包装学会	鯛兜煮のレトルト殺菌と品質について	坂口勝實、他
7. 2	長崎先端技術開発協議会 研究成果発表会	味噌製造工程より生じる大豆蒸煮液の肥料化に関する研究	久保克己、他
7. 4	第21回海洋開発シンポジウム (土木学会)	人工衛星リモートセンシングによる大村湾の海水交換の調査とシミュレーション・システムの相似性確認への応用	兵頭竜二、他
8. 6	応用化学セミナー (三大学 合同)	タンパク系新素材の開発と応用技術	森 重之

月 日	学 会 等 の 名 称	発 表 テ ー マ	発表者等
8.26	第69回日本生化学会	ウミガメの線維芽細胞における熱ストレス 応答について	晦日房和、他
9.3	The Tenth International Conference on Ion Beam Modification of Mate- rials	Structure and properties of NbN and TaN films prepared by ion beam assisted deposition	馬場恒明、他
9.3	The Tenth International Conference on Ion Beam Modification of Mate- rials	Adhesive and corrosion-resistant zir- conium oxide coatings on stainless steel prepared by ion beam assisted deposition	馬場恒明、他
9.5	情報処理学会 第53回全国大会	意匠設計のための初期曲面形状の自動生成	小笠原耕太郎、 他
9.6	The Tenth International Conference on Ion Beam Modification of Mate- rials	Compositional Changes of Silicon Car- bide Induced by Nitrogen Implantation	馬場恒明、他
9.8	第57回応用物理学会 学術講演会	パルスレーザデポジション法によるWC薄 膜作製とその特性 (II)	馬場恒明、他
9.8	平成8年度物質工学・資源 環境連合部会	硬質木炭の製造について	瀧内直祐
9.26	第26回金属技術研究者会議	鋳物砂再生回収法開発研究	寺本勝四郎
10.2	溶接学会秋季全国大会	球状黒鉛鋳鉄切屑を用いた溶射皮膜特性	平木邦弘、他
10.6	日本化学会第71秋季年会	密度汎関数プログラムの並列化と小蛋白質 の全電子計算	重光保博、他
10.7	廃棄物学会	海底堆積物と雲仙普賢岳噴出物との固化技 術に関する研究	田中 稔 大脇博樹 長田純夫
10.7	廃棄物学会	焼酎粕および副資材による飼料化と品質評 価	松竹寛康 長田純夫
10.10	日本水産学会	アコヤ貝閉殻筋肉中の生理活性ペプチドの 探索	前田正道

月 日	学 会 等 の 名 称	発 表 テ ー マ	発表者等
10.12	電気関係学会第49回九州支部大会	魚種識別における並列画像処理と高速化	指方 顕
10.12	電気関係学会第49回九州支部大会	P L D法による炭化タングステン (WC) 薄膜の作製 (III)	馬場恒明、他
10.15	The 8th Asian Conference on Electrical Discharge	Spectroscopic Study of Plasma Plume and Tungsten Carbide Thin Film Formation by Pulsed YAG Laser Ablation	馬場恒明、他
11. 1	研究・技術計画学会第11回年次学術大会	産主導による地域技術振興	長田純夫、他
11. 7	4th International Conference on Civil Engineering	海成汚泥の有効利用に向けた固化力学特性に関する実験的研究	田中 稔、大脇博樹、他
11.12	日本化学会情報化学部会	局在化軌道を用いた密度汎関数法による大規模電子状態計算の試み	重光保博
11.20	第13回日韓セラミックスセミナー	Influence of Contaminants on the Adhesion of Titanium Nitride Coating Prepared by Ion Beam Assisted Deposition	馬場恒明、他
11.20	第13回日韓セラミックスセミナー	Adhesion and Corrosion Protection Properties of Nitride Thin Films Synthesized by Ion Beam Mixing	馬場恒明、他
11.22	第12回イオン注入表層処理シンポジウム	イオンビームとプラズマの複合技術による材料の表層改質	馬場恒明
11.23	計測自動制御学会九州支部学術講演会	連続ビデオ画像から Quick Time Virtual Reality データへの変換手法について	藤本和貴、他
11.25	第37回全国公設研素材技術担当者会議	鋳物砂再生回収法開発研究	寺本勝四郎
11.27	IEEE TENCON'96	Computer Interface to Use Head Movement for Handicapped people	高見修、他
11.29	表面技術協会材料機能ドライプロセス表面部会	イオンビームとプラズマを複合した薄膜形成	馬場恒明
11.29	日本溶接協会溶接データシステム研究委員会	知識工学応用マルチメディア方式技術教育システムの開発研究	山内芳久

月 日	学 会 等 の 名 称	発 表 テ ー マ	発表者等
12. 7	H 8・応用物理学会九州支部学術講演会	イオンビームアシスト蒸着による窒化バナジウム薄膜の作製と特性	馬場恒明、他
12. 7	H 8・応用物理学会九州支部学術講演会	コーティング膜の密着強度に及ぼす不純物酸素の影響	馬場恒明、他
12. 7	H 8・応用物理学会九州支部学術講演会	イオンビーム蒸着法による酸化物および窒化物薄膜作製	馬場恒明、他
12. 7	H 8・応用物理学会九州支部学術講演会	パルス YAG レーザデポジション法による窒化炭素薄膜作製	馬場恒明、他
12.10	電気学会研究会	P L D法によるWC薄膜作製と分光分析	馬場恒明、他
12.12	機械技術研究所研究発表会	常動ロボットシステムを目指して	田口喜祥、他
12.15	日本ウミガメ会議	ウミガメの甲羅；その性質および形成メカニズム	晦日房和、他
12.15	日本ウミガメ会議	ウミガメの線維芽細胞の分離およびその性質	晦日房和、他
12.18	腐食防食・表面技術研究者会議	溶融Zn-Niめっきに関する研究	瀧内直祐
1. 23	応用化学セミナー（熊本工業大学）	分子集合体及び水溶液中でのジペプチド基質の立体選択的加水分解反応	森 重之
3. 5	広域共同研究第2回推進協議会	鋳型無し（FMC）造形法の研究	森田英毅 太田泰平
3. 5	原料転換等支援事業研究成果説明会 東京	べっ甲端材の有効利用技術開発（べっ甲端材の高品位化に関する研究）	森 重之
3. 5	原料転換等支援事業研究成果説明会 東京	牛角の利用によるべっ甲代替材料の開発（高品位化牛角の接着に関する研究）	森 重之
3. 5	原料転換等支援事業研究成果説明会 東京	商品化のためのデザイン開発（コンピュータを利用したデザイン開発）	森 重之 山内英夫 小笠原耕太郎
3.12	情報処理学会 第54回全国大会	工業デザインにおける形状生成の一手法	小笠原耕太郎 他
3.13	電気学会研究会プラズマ研究会 長崎大学	プラズマとイオンビームアシスト蒸着による窒化炭素薄膜の作製と構造	馬場恒明

月 日	学 会 等 の 名 称	発 表 テ ー マ	発表者等
3.21	原料転換支援事業成果説明会 長崎市	商品化のためのデザイン開発—コンピュータを利用したデザイン開発	森 重之 山内英夫 小笠原耕太郎
3.21	原料転換支援事業成果説明会 長崎市	べっ甲端材の有効利用技術開発—べっ甲端材の高品位化に関する研究	森 重之
3.21	原料転換支援事業成果説明会 長崎市	牛角の利用によるべっ甲代替材料の開発—高品位化牛角の接着に関する研究	森 重之
3.26	日本金属学会1997年春季大会 東京理科大	微細ジルコニア粒子分散型マグネシウム合金の流動性と表面精度	寺本勝四郎 他
3.27	日本金属学会1997年春季大会 東京理科大	ニオブと炭素の複合拡散による鉄合金の表面改質	太田泰平
3.31	日本水産学会 東京水産大学	水産加工残滓の生物学分解と、その分解物の調味料への利用について	斎藤宗久 他

(2) 誌上発表

発表誌等の名称	発表テーマ	発表者
溶射（日本溶射協会） Vol.33 NO.1 1996	長崎県工業技術センター溶射研究室	平木邦弘
大村市民フォーラム 6月15日／第45号	中小企業から中核企業へ	長田純夫
Tetrahedron Letters Vol.37 NO.20, 3461-3464 1996	A Remarkably Enhanced Diastereoselectivity for the Hydrolysis of Dipeptide Esters Responding to PH and Temperature in Buffer Solutions	森 重之、他
溶接技術（日本溶接協会誌）8月号	溶接エキスパートシステムの開発と製品化	山内芳久
New Technology Japan (JETRO) Vol.24 No.5 P.22 (1996)	Surface Modification Technology Compounding Plasma Discharge and Ion Beam Irradiation	馬場恒明
月刊ベンチャーリンク （ベンチャーリンク社）8月号	公設試と地元企業の融合で“技術立県長崎”を宣言（インタビュー）	長田純夫
バウンダリー（材料開発ジャーナル・コンパス社）Vol.12 NO.9	廃砂費が新砂購入費より高いなんて！・・・というわけで、鋳物砂の再生回収に取り組んでいます。	寺本勝四郎
月刊デジマNo.1（1996.9）	パクステクノロジー①	長田純夫
第7回廃棄物学会研究発表会 講演論文集Ⅲ（廃棄物学会）	循環型社会の構築にむけて ——2つの視点——	長田純夫
Surface and Coatings Technology Vol.84 P.429 (1996)	Synthesis and properties of tantalum nitride films formed by ion beam assisted deposition	馬場恒明
Surface and Coatings Technology Vol.83 P.128 (1996)	Formation of Si_3N_4 by nitrogen implantation into SiC	馬場恒明、他
Thin Solid Films Vol.281-282 p.324 (1996)	Effect of r.f. bias on cubic BN film synthesis by pulsed Nd:YAG laser deposition	馬場恒明、他
日本包装学会誌	研究所・試験所紹介	坂口勝實

発表誌等の名称	発表テーマ	発表者
溶射特集号（高温学会）	鋳鉄の切屑を溶射材料としたガス溶射皮膜特性	平木邦弘、他
化学工業論文集 Vol.22, NO.6, 1313 (1996)	タンパク系素材利用によるべっ甲代替材料の開発	森 重之、他
J.Chem.Eng.Jpn., 29, 1057 (1996)	Properties of Novel Ornamental Material Boards made from Silk Fibroin Sheet	森 重之、他
季刊 溶射技術（産報出版） VOL.16 NO.3	球状黒鉛鋳鉄切屑を用いた溶射における皮膜に及ぼす炭素の影響	平木邦弘、他
中小企業振興 2月15日付 第706号	中小企業こそが希望の星 技術立国の立役者	長田純夫
Nuclear Instruments and Methods Physics Research B Vol.121 p.129	Preparation of amorphous carbon thin films by ion beam assisted EC CVD	馬場恒明
Nuclear Instruments and Methods Physics Research B Vol.121 p.39	Pulsed laser deposition of tungsten carbide thin films on silicon substrat	馬場恒明
表面技術 Vol.48 NO.3 P.73 (1997)	Ti イオン注入による炭素薄膜の構造変化	馬場恒明
信頼性ハンドブック（日本信頼性学会）	溶接設計エキスパートシステム	山内芳久
長崎大学教育学部 自然科学研究報告 第56号	レトルトパウチ詰コチジャン漬食品の成分及び性質	坂口勝實 前田正道、他
日本工業新聞 意見提言 3/31	納税者 VS 公務員 矜持と自覚が成果生む	長田純夫
廃棄物学会誌 Vol.8 P.154 (1997)	循環社会の構築に向けて	長田純夫

8. 人材交流

(1) 講師等依頼派遣

月 日	派 遣 先	講 演 テ ー マ 等	講 師
4.16	科学・産業技術経営者連盟 設立記念シンポジウム	「地域科学技術新時代を創る」パネリスト	長田純夫
4.25	平成8年度開校記念日記念 講演会（福岡県立大牟田北 高校）	君は科学技術創造立国を見たか！	長田純夫
5.24	長崎県プラスチック工業会 定時総会	工業技術センターの現状と役割	森 重之
5.27	大村商工業労務改善協会	当事者も知らない中小企業の実力	長田純夫
6.8	ワイドビジョン	長崎県におけるインターネットの現状につ いて	藤本和貴
6.21	わが国“中核企業”の技術 と経営に関する研究会（電 通総研）	中小企業立国論—長崎県における中小企業 活性化戦略	長田純夫
7.6	社民党長崎県自治体議員団 連盟総会	技術立県と中小企業の話	長田純夫
7.31	山口県職員研修 （山口県自治研修所）	政策形成セミナーⅠ	長田純夫
8.5	H8・職業訓練指導員専門 研修	地域振興における工業技術センターの取組 み	長田純夫
8.16	HARBIN, EARTH, AGRICUL- TURE LIMITED, COMPANY AND JAPAN, INDEPEN- DENT, AND ASSETS BUSI- NESS（ハルビン市）	玉蜀黍のレトルト殺菌加工と品質保持につ いて	坂口勝實
8.20	小長井町	森林資源利用技術に関する研究	瀧内直祐 森 重之 長田純夫
8.23	環境共生ネットワーク事業 （長崎市）	有機質のリサイクルについて	久保克己
9.11	座談会（日刊工業新聞）	人材立県を目指して ボトムアップ長崎— 科学技術の新潮流	長田純夫

月 日	派 遣 先	講 演 テ ー マ 等	講 師
9.26	佐世保地区講演会（中小企業金融公庫）	中小企業の魅力・実力・潜在力	長田純夫
9.27	長崎地区講演会（中小企業金融公庫）	中小企業の魅力・実力・潜在力	長田純夫
10. 2	パソコン勉強会（大村市医師会）	インターネットについて	藤本和貴
10. 3	松浦東高校	レトルト食品の加工及び保存技術について	坂口勝寛
10. 8	廃棄物学会第7回研究発表会・シンポジウム	循環型社会の構築に向けて——地方からのメッセージ コーディネーター	長田純夫
10.16	㈱長崎県造園・建設業協会研修会	工業技術センターの役割について	長田純夫
10.25	中小企業事業団技術開発成果発表会	中小企業の技術開発はいかにあるべきか パネリスト	長田純夫
11.15	大村商工会議所講演会	中小企業の誇りと使命	長田純夫
12. 4	工業部会セミナー（佐世保商工会議所）	科学産業技術による地域振興戦略	長田純夫
12. 4	酒類講習会（県酒造組合）	細胞融合による酵母の育種と清酒製造について	斎藤宗久
12. 7	いじめ根絶市民討論会	今、立ちあがろう 子どもたちの心を育むために パネリスト	長田純夫
12.10	長崎発信シンポジウム（科学・産業技術経営者連盟）	中小企業は国家のいしずえ パネリスト	長田純夫
12.16	シンポジウム（北九州テクノセンター）	「第三セクターに望むもの」 パネリスト	長田純夫
12.16	長崎工業高校	最先端のコンピュータ技術、3次元画像とインターネット	藤本和貴
12.19	学習会（長崎エムシー経営協同組合）	有機質廃棄物のリサイクルについて	久保克己
12.20	佐世保先端技術開発・協	養殖場の底質改善の現状	田中 稔

月 日	派 遣 先	講 演 テ ー マ 等	講 師
1.16	長崎大学商科短期大学部総合講座	科学技術は地域活性の源泉	長田純夫
1.17	佐世保先端技術開発・協研修会	有機質廃棄物のリサイクルについて	久保克己
1.23	中小企業大学校 事例研究短期研修	公設試における研究開発・技術指導の現状と課題	森田英毅
1.29	工技院中堅研修者総合研修	地域工業技術センターへの招待	長田純夫
1.31	機能性複合材料研究会（福岡県）	プラズマとイオンビームを複合した材料の表面改質	馬場恒明
2.10	九工大特別講演	現場から見た科学立国日本 ―いま、学生に伝えたいこと―	長田純夫
2.15	大村市教育研修会	教育体系と科学技術体系	長田純夫
2.27	長崎ロータリークラブ	閉鎖日本の希望の星―中小企業立国論	長田純夫
3.10	中国・四国・九州機械金属専門部会	大競争時代における公設研のあり方	長田純夫
3.13	長崎ケーブルTV協議会	私の中小企業立国論	長田純夫
3.20	上対馬特産品協会	特産品開発にかかる現状と問題点について	坂口勝實
3.21	自然にやさしい環境の回復技術セミナー（テクノポリス財団）	有機質廃棄物のリサイクルと微生物による脱臭	久保克己

(2) 審査委員等派遣

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
月 1 回	醤油官能検査	県味噌醤油協	河村俊哉
月 1 回	アイデアヒントクラブ	発明協会県支部	森田英毅
4.11 5.31 6.27 10.4 11.7 12.2 2.14	科学・産業技術経営者連盟幹事会	同連盟	長田純夫
4.18	長崎地区研究交流促進会議第3回共同研究推進委員会	新技術事業団	長田純夫
4.22 7.17 8.21	支部創立40周年記念誌編集委員会	溶接協会県支部	平木邦弘
4.23	地域における研究開発事業の展開方策に関する研究会	自治省	長田純夫
4.24 5.29 6.28 10.1 11.18 12.6 2.12 3.21	産学の連携・協力の在り方に関する調査研究協力者会議	文部省	長田純夫
4.24 11.27	海の環境予測手法開発推進委員会	テクノポリス財団	田中 稔
4.24	商工労働部関係地方機関長会議	商工労働部	溝上一孝 森田英毅
4.25	県技術開発研究委託事業審査会	テクノポリス財団	永田良人
4.26	技術開発の予備的研究助成事業審査会	テクノポリス財団	森田英毅
4.30 5.30 7.15 3.4	電源地域産業育成支援補助事業 凍氷カッティングシステム開発検討委員会	日本遠洋旋網漁業・協	松永一隆 指方 顕

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
5. 7	溶接検定委員会	日本溶接協会	平木邦弘
5. 8	発明協会理事会	発明協会県支部	溝上一孝
5.15	産地ブランドロゴマーク委員会	壱岐酒造・協	山内英夫
5.16 9.10 10.15 10.29	環境審議会環境基本計画策定委員会	佐世保市	長田純夫
5.22	溶接協会H 8 通常総会	同協会県支部	長田純夫 平木邦弘
5.24	大村ふるさと産品新作展	大村商工会議所	長田純夫 坂口勝實
5.24 9.27	地域研究開発促進拠点支援事業打合せ	県企業振興課	長田純夫 溝上一孝
5.27	中小企業診断指導調整推進会議調整部会	県経営指導課	溝上一孝
5.28	県中小企業技術改善費補助金審査会	県企業振興課	森田英毅
5.28	発明協会総会	発明協会県支部	溝上一孝
5.30 2.17 3.31	九州地域環境調和型経済社会研究会	九州通産局	長田純夫
5.30	地域技術事業化助成事業に係る審査会	テクノポリス財団	森田英毅
5.31	地域技術商品化支援事業に係る審査会	テクノポリス財団	森田英毅
6. 3	技術開発委員会	中小企業事業団	長田純夫
6. 5 7.18 9.24	地域における研究開発事業の展開方策に関する研究会	自治省	長田純夫
6. 6	磯焼け対策検討委員会	県水産部	森田英毅
6. 7	中小企業融合化促進審査会	佐世保市	森田英毅
6. 7	特産品販売促進委員会	三和町	長田純夫 斎藤宗久

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
6. 9	溶接技術コンクール	溶接協会県支部	長田純夫 平木邦弘
6.12	九州戦略事業推進委員会	九州通産局	長田純夫
6.18	科学・産業技術経営者連盟企画委員会	同連盟	長田純夫
6.20	九州地域産業技術プロモーションプログラム第4回策定委員会	九州通産局	長田純夫
6.21 8.26	県ふるさと産業振興事業費補助金検討委員会	県観光物産課	溝上一孝
6.21	中小企業技術開発事業補助の交付決定に係る意見聴取会	長崎市	森田英毅
6.25	長崎先端技術開発協議会研究委員会	同協議会	長田純夫 森田英毅 斎藤宗久
6.25	県産品グレードアップ事業「県央地域産地検討・選定委員会」	県観光物産課	前田正道
6.27	県溶接技術コンクール総合判定会	溶接協会県支部	平木邦弘
6.27	経済対策部会 VS 科経連合同勉強会	科学・産業技術経営者連盟	長田純夫
6.27	九州・沖縄地域公設研究機関企画担当者会議	九州工業技術研究所	溝上一孝
7. 2	長崎先端技術開発協議会総会・研究成果発表会	同協議会	長田純夫
7. 5	第7回研究発表会第2回実行委員会	廃棄物学会	長田純夫
7. 9 11.12 3.18	幹事会	技術立県道場	長田純夫
7.16	長崎先端技術開発協議会国際会議派遣審査委員会	同協議会	長田純夫
7.25	H7・県技術開発研究委託事業成果報告会	テクノポリス財団	森田英毅
7.26	新商品開発協議	三和町特産品販売促進委員会	長田純夫

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
7.29 2.4	H 8・特定中小企業集積支援技術開発事業・第1回推進委員会	テクノポリス財団	田中 稔
7.30	シンポジウム打ち合わせ	廃棄物学会	長田純夫
8.1 3.6	県地域技術ネットワーク形成事業推進委員会	県商工労働部	長田純夫
8.17	溶接技術検定試験	日本溶接協会	平木邦弘
8.20	木材利用技術研究会	小長井町	長田純夫 森 重之 瀧内直祐
8.26	県新企業創出事業第1次審査会	テクノポリス財団	長田純夫
8.27	海洋産業振興のための研究会	九州通産局	森田英毅
8.28 11.7 2.6	県北地域廃棄物広域処理システム調査委員会	財・九州地域産業活性化センター	森田英毅
8.29	H 8・九州地方発明表彰選考委員会	発明協会	長田純夫
8.31 9.27 12.7	九州地区溶接技術検定委員会	日本溶接協会	長田純夫 平木邦弘
9.2 3.17	戦略的地域技術形成事業推進委員会	県企業振興課	長田純夫
9.9 10.15 10.24	海洋開発F S 委員会	県企業振興課	長田純夫
9.11 10.5 10.28 12.2	煮干煮汁を原料とする魚醤油の仕込試験	北魚の目第一漁協	前田正道
9.17 10.24	海洋開発F S 合同委員会	海洋科学センター	長田純夫 森田英毅
9.19	県新企業創出事業第2次審査会	テクノポリス財団	長田純夫

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
9.19	技術開発研究費補助事業にかかる推進協議会	中部通産局	森田英毅
9.20	第7回研究発表会の第3回実行委員会	廃棄物学会	長田純夫
9.24 12.17 3.17	県中小企業新分野進出事業技術開発委員会	長崎マリン技術開発・協	田中 稔 長田純夫
9.27	H8 技術開発の予備的研究助成事業審査会	テクノポリス財団	森田英毅
10. 2	農産加工プロジェクト研修	諫早市	前田正道
10. 4 3.25	酒類審議会	福岡国税局	斎藤宗久
10.11	H8・県技術開発研究委託事業審査会	テクノポリス財団	森田英毅
10.14	創造法関係審議会	テクノポリス財団	森田英毅
10.15	カリキュラム検討委員会分科会会議	長崎高等技術専門校	山内英夫
10.15 10.24 3.12	海洋開発F S 委員会	県企業振興課	長田純夫
10.23	地域研究開発促進拠点事業F S 準備委員会	工業技術センター	長田純夫
10.24	8年度九州地方発明表彰式	発明協会	溝上一孝
10.30	第44回県発明工夫展審査会	発明協会県支部	森田英毅
10.30	特定中小企業集積の活性化事業	県観光物産課	松永一隆
10.31 3.19	地域先導研究事業推進委員会	科学技術庁	馬場恒明
11. 1	非破壊検査研究会	非破壊検査協会	平木邦弘
11. 5	中小企業集積事業推進委員会	テクノポリス財団	溝上一孝
11. 6	県工業高校発明振興会役員会	同振興会	溝上一孝
11. 8	マルチメディアビジネスの現状と今後の取り組みに関する調査委員会	株・長崎ソフトウェアセンター	山内英夫

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
11. 8 12. 9 2.14 3.11	デジマ編集会議	技術立県道場・科経連	長田純夫
11.11	創造的中小企業創出支援事業審査会	テクノポリス財団	長田純夫
11.17	県高校ロボットコンクール	同実行委員会	永田良人
11.18	県優良特産品推奨審査会	県物産振興協会	溝上一孝
11.25 3. 4 3.27	H 8 ・地域技術移転促進調査研究会	財・日本テクノマート	長田純夫
11.27 3.21	H 8 原料転換等推進委員会	日本ベッ甲協会	溝上一孝
12. 4	支部役員会	溶接協会県支部	平木邦弘
12. 5	地域科学技術分科会幹事会	研究・技術計画学会	長田純夫
12.10	総会	科学・産業技術経営者連盟	長田純夫
12.11	水産加工振興祭品評会	県水産部	溝上一孝
12.11	佐世保地区集積活性化推進事業検討会	県企業振興課	田中 稔
12.17 1.10 1.24 2. 4 2. 7 2.21	創造基盤技術移転アドバイザー	中小企業事業団	山内芳久
12.19	発明協会役員会・発明くふう展表彰式	発明協会県支部	溝上一孝
12.24	環境審議会	大村市	長田純夫
12.24	キャロットワインの製造打合せ	J A大村市	斎藤宗久
12.25 3.14	地域資源活用型起業化事業総合計画委員会	長崎人工現実感装置開発・協	永田良人
1.13	県観光案内板等デザインコンペ審査会	県観光物産課	山内英夫
1.16	H 8 ・組合特定問題懇談会—ISO の内容とその取得方法—	県中小企業団体中央会	松永一隆

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
1.16	県デザイン振興会議幹事会	同会議	山内英夫
1.20	活性化計画「長崎地域」検討会	県企業振興課	田中 稔
1.28	海洋技術セミナー開催検討会	テクノ財団	田中 稔 久保克己 大脇博樹
1.29	H 9・地域資源活用型起業化事業採択検討 会議	商工労働政策課	森田英毅
2. 7	運営委員会	テクノポリス財団	溝上一孝
2. 7 2.25	R S P・F S 委員会	商工労働部	長田純夫 溝上一孝 森田英毅
2.13	常任幹事会	科学・産業技術経営者連盟	長田純夫
2.20	平和祈念像・日本26聖人像老朽度調査	長崎市	馬場恒明
2.21	R S P・F S 委員会ワーキング・グループ	商工労働部	長田純夫
2.24 3.12	海洋F S 委員会	企業振興課	長田純夫 森田英毅 田中 稔
2.25	H 9 県中小企業技術改善費補助金の審査会	企業振興課	森田英毅
2.25	第 4 回地域科学技術分科会幹事会	研究・技術計画学会	長田純夫
2.28	H 8 中小企業融合化促進審査会（第 2 回）	佐世保市	森田英毅
3. 3	マルチメディアアートコンテスト'96審査 委員会	長崎ソフトウェアセンター	山内英夫
3. 4	特産品新作展審査会	観光物産課	溝上一孝
3. 4	FMC研究開発推進委員会	中部通産局	森田英毅
3.10	長崎新酒研究会	県酒造組合	斎藤宗久
3.11	中小企業情報センター運営委員会	中小企業振興公社	溝上一孝
3.11	水産加工開発センター運営委員会	水産試験場	松竹寛康
3.14	中小企業大学校研修開発検討会	中小企業事業団	長田純夫
3.17	運営委員会	テクノポリス財団	溝上一孝

月 日	審 査 会 等 名 称	主 催	審査委員等
3.24	研究協力診断調査推進委員会	NEDO	長田純夫
3.25	財長崎県産業技術振興財団の愛称選定委員会	テクノポリス財団	長田純夫

(3) 客員研究員及び講師招聘

(3-1) 客員研究員招聘

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
名古屋大学 工学部 助教授 沓名 宗春	知識工学応用マルチメディア方式教育システムの開発研究内容検討	1日
長崎総合科学大学 教 授 大黒 貴	難削材料の特性と切削加工技術	1日
鹿児島大学水産学部 助 手 門脇 秀策	海藻を利用した海域浄化策について	2日
九州工業大学 教 授 加藤 光昭	溶接・非破壊検査技術	1日
長崎大学工学部 教 授 石松 隆和	信号処理技術について	1日
農水省東北農業試験場 企画連絡室長 石谷 孝佑	食品の品質保持と栄養、品質管理	2日
長崎大学工学部 助教授 香川 明男	鋳型無し（FMC）造形法の研究	1日
広島大学生物生産学部 教 授 吉村 幸則	動物病理学	1日
長崎大学工学部 助教授 香川 明男	金属（鋳造）材料の基礎技術	1日
佐世保工業高等専門学校電子制御工学科 講 師 長嶋 豊	ロボティクス技術	1日
長崎大学工学部 教 授 石松 隆和	ロボティクス技術	1日
アプリコット・インスツルメンツ有限公司 代 表 高橋 政義	DTP関連技術について	1日
広島大学工学部 助教授 森永 力	有機質のリサイクルにおける微生物の利用方法	2日
久留米高専材料工学科 助教授 本田 義興	鋳物材料加工技術	1日
長崎大学工学部 教 授 石松 隆和	コンピュータ・インターフェイス技術について	1日

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
長崎大学工学部 助教授 辻 峯男	電子制御技術について	1 日
長崎県技術アドバイザー 武藤 虎雄	機械鋳物加工技術の基礎指導	2 日
長崎大学教育学部 教 授 玉利 正人	栄養食品の開発に関する研究	1 日

研究者受け入れ（STAFELLOWSHIP制度）

職 氏 名	研 究 項 目	受入期間
アウグスブルグ大学 物理学研究所 Dr. Jorg K. N. Lindner	プラズマソースイオン注入および MEVVA による金属中への炭素の注入	'97. 3～ '97. 5

（３－２）講師招聘

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
名古屋大学工学部 教 授 高井 治	ドライプロセスによる炭素系薄膜の作製について	1 日
工技院大阪工業技術研究所 客員研究員 Lukas Alberts	薄膜の結晶構造解析法について	1 日
通産省立地政策課 総括班長 小宮 義則	科学技術シンポジウム 情報提供	1 日
衆議院議員 尾身 幸次	科学技術シンポジウム 情報提供	1 日
三菱電機㈱名古屋製作所 技術指導員 長尾 邦彦	ワイヤ放電加工技術の指導	3 日
長崎県技術インストラクター 鵜池 実	鋳物機械製品開発基礎技術	1 日
宮崎医科大学 講 師 池田 哲也	タンパク質の単離及び解析技術	1 日

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
鹿児島大学水産学部 助 手 門脇 秀策	海藻を利用した海域浄化策について	2 日
㈱日本タイプライター 課 長 松岡 一夫	ユーザが求めているマルチメディア商品	1 日
ワイドビジョン 理事長 小峯 義尚	マックシステムによる商品カタログ作り	1 日
長崎大学工学部 助教授 香川 明男	鋳型無し（FMC）造形法の研究	2 日
千葉工業大学 教 授 高谷 松文	マイクロ波プラズマCVDによるダイヤモンド合成	1 日
名古屋工業技術研究所 客員研究員 L.Wielunski	イオン注入によるポリマー表面の機械的及び構造的変化	1 日
㈱ミットヨ 営業企画部長付 佐久間健司	I S O 9 0 0 0 の概要と計測機器の管理	1 日
芝浦工業大学 非常勤講師 松坂 菊生	複合型表層改質技術の研究	1 日
機械技術研究所 所 長 松野 健一	工業技術連絡会議	1 日
九州工業技術研究所 部 長 北原 晃	工業技術連絡会議	1 日
九州通産局技術振興課 課 長 村上 英治	工業技術連絡会議	1 日
石川県農業短期大学 教 授 矢野 俊博	食品工場におけるこれからの微生物制御について	1 日
東京メタリコン㈱ 技術部長 石川 量大	溶射技術	1 日
島根県立工業技術センター 金属科長 堀江 譲	溶射技術	1 日
群馬大学工学部 教 授 天田 重庚	溶射技術	1 日

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
エス・イー・エー創研㈱ システム開発マネージャー 山口 荘一	ソフトウェアシステム技術	1日
エス・イー・エー創研㈱ 社 長 松尾 晃	船舶基本設計技術	1日
佐世保高等工業専門学校 助 手 長嶋 豊	画像形式設計資料のパソコン処理	1日
長崎総合科学大学 非常勤講師 前原 一典	システム開発言語	1日
MHI マリテック㈱ 取締役 今村 正吾	中小造船基本計画知識の体系化	1日
福岡造船所㈱ 基本設計課長 池崎 英介	船舶の基本設計技術	1日
名古屋大学工学部 助教授 沓名 宗春	鋳型無し（FMC）造形法の研究指導	1日

（３－３）講師招聘（地域技術ネットワーク形成事業）

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
岡山県工業技術センター 所 長 川崎 仁士	地方公設試の望ましいあり方と人材育成について	1日
長崎大学 工学部 教 授 石松 隆和	長崎県地域技術ネットワーク形成事業推進委員会	2日
長崎総合科学大学 情報科学センター 教 授 前原 一典	〃	3日
佐世保工業高等専門学校 校 長 徳永 洋一	〃	2日
九州通産局技術振興課 課 長 村上 栄治	〃	1日
電子技術総合研究所 次 長 梶村 皓二	〃	2日

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
元 九州工業技術研究所 首席研究官 山田 泰弘	長崎県地域技術ネットワーク形成事業推進委員会	2 日
日本ビソー(株) 代表取締役会長 矢頭 成元	〃	1 日
協和機電工業(株) 社 長 坂井 俊之	〃	2 日
九州電通(株) 社 長 角谷 省一	〃	2 日
(株)日本ベネックス 社 長 小林 進	〃	2 日
(株)九十九島エスケイファーム 取締役副会長 森田 一生	〃	2 日
(資)若竹屋酒造場 代表取締役社長 林田 正典	〃	2 日
長工醤油味噌(株) 常 務 古賀昭八郎	〃	2 日
ナガサキ・テクノポリス財団 常務理事 三原 資巨	〃	2 日
和歌山県工業技術センター 所 長 田端 英世	「長崎技術研究会」工業技術センターの使命観について	1 日
長崎大学工学部 教 授 黒田 英夫	「画像処理技術研究会」見えないところを検査する画像処理技術	1 日
九州通産局 技術振興課長 村上 英治	「長崎技術研究会」での講演	2 日
理化学研究所 室 長 岩木 正哉	「機能性薄膜技術研究会」イオンビームによる機能性表面の創成	1 日
長崎大学工学部 教 授 石松 隆和	「長崎技術研究会」での講演	1 日
佐世保高専 教 授 中園 彪	「長崎技術研究会」での講演	1 日

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
長崎大学工学部 教 授 黒田 英夫	「画像処理技術研究会」超音波を用いた鉄サビ 検出について	1 日
長崎大学工学部 助 手 高尾 雄二	「機能性薄膜技術研究会」分極曲線測定システ ム制御技術について	1 日
長崎大学工学部 助 手 高尾 雄二	「機能性薄膜技術研究会」プラズマ応用技術に ついて	1 日
佐賀大学理工学部 教 授 藤田 寛治	「機能性薄膜技術研究会」プロセスプラズマの 最近の応用技術	1 日
広島大学工学部 助教授 森永 力	「土壌微生物応用技術研究会」有機質のリサイ クルにおける微生物の利用	2 日
長崎大学工学部 教 授 松尾 博文	「バイオメカニクス技術研究会」インテリジェ ントパワー電子回路とDSPの応用(1)	1 日
長崎大学工学部 助教授 黒川不二雄	「バイオメカニクス技術研究会」インテリジェ ントパワー電子回路とDSPの応用(2)	1 日
社会福祉法人 じゅもん会 理事長 小峰 義尚	「バイオメカニクス技術研究会」福祉情報のネ ットワーク構想	1 日
高麗大学校工科大学 早稲田大学 客員教授 金 炳 扈	「機能性薄膜技術研究会」 ゾルーゲル法による機能性薄膜作製	1 日
富士岐工産(株) 課 長 森 讓治	「溶射技術研究会」溶射技術	1 日
第一化工(株) 社 長 面出 隆男	「溶射技術研究会」溶射技術	1 日
有明工業高等専門学校 教 授 川瀬 良一	「溶射技術研究会」溶射技術	1 日
九州工業大学 教 授 岸竹 勝彦	「溶射技術研究会」溶射技術	1 日
長崎大学工学部 教 授 黒田 英夫	超音波画像処理を用いた鋼管腐食について	1 日
長崎大学工学部 教 授 中嶋 直敏	海藻を利用した海域浄化策について	1 日

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
メルシャン(株) 顧問 斎藤 富男	細胞融合による一般清酒用酵母の開発について	2 日
水産庁中央水産研究所 室 長 淡路 雅彦	真珠の形成メカニズム及びそのタンパク質の検討法	1 日
長崎大学工学部 教 授 黒田 英夫	超音波画像処理を用いた鋼管内部腐食検出	1 日
長崎大学工学部 教 授 松尾 博文	「バイオメカニクス技術研究会」 信号処理技術	1 日
長崎大学工学部 助教授 黒川不二雄	「バイオメカニクス技術研究会」画像処理技術	1 日
佐世保高等工業専門学校 助 手 長嶋 豊	超音波による画像伝送	1 日

(3 - 4) 講師招聘 (戦略的地域技術形成事業)

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
生命工学工業技術研究所 微生物機能部 部 長 倉根隆一郎	焼酎粕等の飼料化及び発酵による肥料化研究 開発 (事業推進委員会)	1 日
熊本工業大学 工学部 教 授 岩原 正宣	〃	1 日
大分大学 工学部 教 授 羽野 忠	〃	2 日
協和機電工業(株) 常務取締役 林 明俊	〃	2 日
オーケーフード(株) 品質管理部 部 長 泉沢 裕次	〃	2 日
壱岐酒造(株) 参 事 光安 國博	〃	2 日
(株)シーラック・コーポレーション 技術開発部長 平野 実	微生物処理による食品廃棄物の肥料化に関する基礎	2 日

職 氏 名	指 導 項 目	指導期間
(株)シーラック・コーポレーション 技術開発部長 平野 実	微生物処理による肥料化および試験方法	2日
(株)シーラック・コーポレーション 技術開発部長 平野 実	焼酎粕発酵肥料条件と肥料成分の検討	2日
工技院生命工学工業技術研究所 特異代謝研究室長 手塚 敏幸	戦略事業推進委員会	1日
長崎大学教育学部 教 授 玉利 正人	〃	1日
熊本工業大学工学部 教 授 上岡 龍一	〃	1日
鹿児島大学農学部 教 授 石畑 清武	〃	1日
県総合農林試験場 科 長 永尾 嘉孝	〃	2日

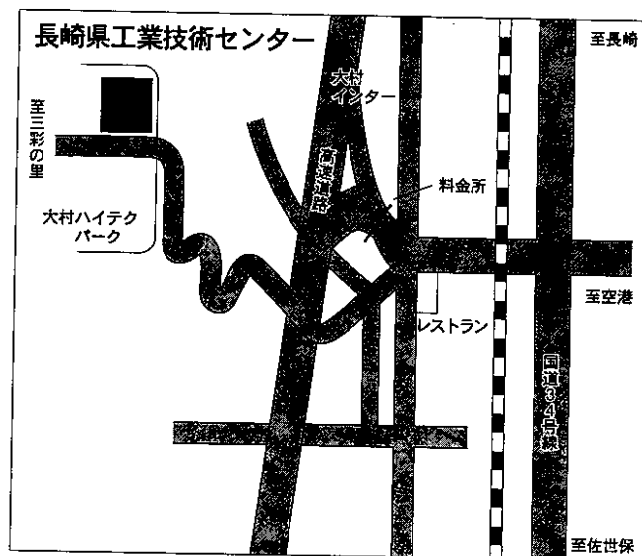
(4) 研修生の受け入れ

研 修 名	内 容	研修生職氏名	担 当 者	期 間
共同研究 (大学院生)	高圧下での合金の凝固と相変態に関する研究	長崎大学 森田 武 丸田 崇	応用加工科 太田 泰平	8.5.1～ 9.2.25
共同研究 (卒論学生)	難削材料の研削加工に関する研究	長崎総合科学大学 兼城 安孝 竹川 光敏 田籠 宏昭	応用加工科 松永 一隆	8.6.1～ 9.2.28
共同研究	真珠貝の細胞取扱い技術	田崎真珠(株) 藤田 文	食品科 晦日 房和	8.6.1～ 9.3.31
情報技術者短期 内地留学	D C サーボモーターの制御による自動切断機の製作	島原工業高等学校 教諭 高田 佳男	電子科 藤本 和貴	8.7.29～ 8.8.9
情報技術者短期 内地留学	ネットワークの構築とホームページの作成	鹿町工業高等学校 教諭 三根 行親	電子科 藤本 和貴	8.7.22～ 8.8.9
情報技術者短期 内地留学	インターネットホームページの作成	大村工業高等学校 教諭 梅野 剛	電子科 藤本 和貴	8.7.22～ 8.8.3
共同研究 (卒論学生)	発泡スチロール用溶射金型の製作に関する研究	長崎総合科学大学 西岡 真也 乗松真二郎	応用加工科 平木 邦弘	8.5.7～ 9.2.28
共同研究	材料の表面改質	佐世保高専(4年) 山内 正弘	工業材料科 馬場 恒明	8.7.22～ 8.8.2
共同研究	レトルト技術(とうもろこしレトルト)	衛マリー・コーポレーション 王 永耀	食品科 坂口 勝實	9.3.5～ 9.3.6

9. 施設見学者

年 度	見 学 団 体 数	見 学 者 数
8 年 度	95 件	1,811 人
7 年 度	79	1,744
6 年 度	78	1,403
5 年 度	80	1,944
4 年 度	135	2,995

位 置 図



- 大村駅より車で10分
- 長崎空港より車で13分
- 大村ICより車で3分

発行日：平成9年7月1日

発行所：長崎県工業技術センター

〒856 大村市池田2丁目1303番地8

TEL 0957-52-1133

FAX 0957-52-1136

ホームページ <http://www.tc.nagasaki.go.jp>